

1. 件名（情報）・題名

八千代市第5次総合計画を策定しました

2. 内容（目的・日時・場所・特徴など）

人口減少，超高齢社会の影響を踏まえた展望を描き，社会経済情勢の変化に対応しながら，持続可能な発展を目指した長期的な視点に立ち，総合的かつ計画的にまちづくりをすすめる指針として，令和3年3月に，新たな総合計画として第5次総合計画を策定しました。第5次総合計画の構成，内容等は以下のとおりです。

(1) 八千代市第5次総合計画の構成

基本構想・基本計画・実施計画により構成します。

(2) 八千代市第5次基本構想

長期的な視点から，本市のまちづくりを進める上での将来都市像と基本理念を示すとともに，将来都市像の実現に向けた施策の大綱を示しています。

（計画期間） 令和3年度から令和10年度までの8年間

（基本理念） 「誇りと愛着」「共生と自立」「安心と安全」

（将来都市像）「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」

（体系） 将来都市像を実現するため，「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」「豊かな心と文化を育むまちづくり」「安心・安全に暮らせるまちづくり」「快適で環境にやさしいまちづくり」「産業が元気なまちづくり」の5つの柱と，「構想の推進のために」を基本としてまちづくりを進めます。

(3) 八千代市第5次総合計画前期基本計画

基本構想を実現するため，重点的に実施する施策を位置づけるほか，まちづくりの基本的な施策を体系的に示しています。

（計画期間） 令和3年度から令和6年度までの4年間

（体系） 6つの「リーディングプロジェクト」及び5つの柱に沿った「部門別計画」，「計画の推進のために」，「ゾーニング計画」，「地域別計画」

(4) 八千代市第5次総合計画前期実施計画

基本計画において定められた施策を効果的に実施するための具体的な事業を示しています。

（計画期間） 令和3年度から令和6年度までの4年間における向こう3年間とし，ローリング方式により毎年度見直しを行います。

(5) 第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

少子高齢化や人口減少問題の克服，地域経済の発展や活力ある地域社会の形成は総合計画と目的を同じくしていることから，第5次総合計画と一体的に策定しました。

(計画期間) 令和3年度から令和6年度まで

(体系) 2つの横断的な視点及び4つの基本目標

3. 過去・現在及び今後の展開

- ・八千代市第1次総合計画 昭和46年度～昭和60年度
- ・八千代市第2次総合計画 昭和61年度～平成10年度
- ・八千代市第3次総合計画 平成11年度～平成22年度
- ・八千代市第4次総合計画 平成23年度～令和2年度

4. 添付資料（要綱・名簿・写真等）

- ・八千代市第5次総合計画前期基本計画ダイジェスト版
- ・八千代市第5次総合計画前期実施計画

5. 問い合わせ先（住所・電話・担当課等）

八千代市 企画部 企画経営課 企画政策班

電話：047-421-6701

八千代市第5次総合計画

ダイジェスト版



目 次

発刊にあたって	1
第5次総合計画序論	1
八千代市第5次基本構想	2
前期基本計画	3
総論	3
リーディングプロジェクト	3
部門別計画	4
第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと 過ごせるまちづくり	4
第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり	6
第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり	8
第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	9
第5章 産業が元気なまちづくり	11
計画の推進のために	12
ゾーニング計画	14
地域別計画	15
第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略	17

発刊にあたって

本市は、昭和42年に市制施行されて以降、首都圏のベッドタウンとして京成本線及び東葉高速線の鉄道沿線を中心とした宅地造成に伴う急速な都市化が進み、令和という新たな時代を迎えた中で、人口約4万人から20万人を超える都市に成長しました。



しかしながら、令和7年をピークとして全国的な傾向と同様に人口減少に転じることが見込まれ、本市がこれまで経験したことが無い人口減少を踏まえた行政運営の転換が求められています。また、近年、東日本大震災や令和元年房総半島台風などの大規模自然災害が全国各地でたびたび発生していることや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会経済活動への甚大な影響などの様々な脅威に対し、これまで以上に安心・安全なまちづくりが求められています。

これらの新たな課題に対応しながら、今後も持続的な発展を遂げていくため、令和10年度を目標年次とした新たなまちづくりの指針となる「八千代市第5次総合計画」を策定しました。

本計画では、目指すまちの姿を示した将来都市像「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」の実現に向けて、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」「豊かな心と文化を育むまちづくり」「安心・安全に暮らせるまちづくり」「快適で環境にやさしいまちづくり」「産業が元気なまちづくり」という5つの柱を基本的な目標として掲げ、子ども・子育てに関する施策を第一に据えました。

そして、過去から引き継がれ、守ってまいりました緑豊かな自然環境を活かしながら、乳幼児から高齢者までが安心して暮らすことができ、本市の未来に希望が持てるまちづくりを推進してまいります。そのためには、市民の皆様を始め、事業者、団体、行政など様々な主体が連携してまちづくりに取り組むことが大変重要です。

市民の皆様が住んでいてよかったと実感していただくために、計画の推進に全力を注ぐ所存でございますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、市民意識調査やワークショップ、団体意見交換会、パブリックコメントなどを通し、まちづくりへの貴重な御意見、御提言をいただきました多くの市民の皆様を始め、総合計画審議会委員及び市議会議員の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和3年3月

八千代市長 服部友則

第5次総合計画序論

このダイジェスト版は「八千代市第5次総合計画」の概要を紹介するものです。

計画策定の趣旨

本市では、平成22年に定めた「第4次総合計画」に基づき、総合的かつ計画的な行政運営を推進してきましたが、令和2年度に計画期間が終了します。今後、人口減少、高齢化が進行することが予測されていることから、これらの影響を踏まえた展望を描き、社会経済情勢の変化に対応していく必要があります。そこで、持続可能な発展を目指した長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的にまちづくりを進める指針として新たな総合計画を策定しました。

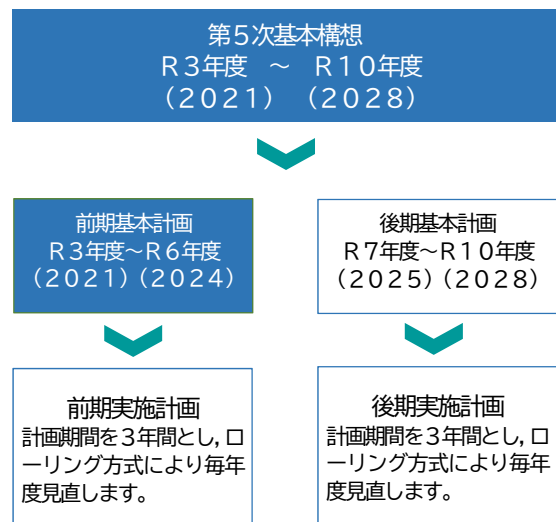
構成・計画期間

本市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画により構成されています。

基本構想は、本市のまちづくりを進めていく上での基本理念と将来目標及び施策の大綱を示し、総合的な行政運営の指針とするものです。

基本計画は、基本構想を実現するため、まちづくりの基本的な施策を体系的に示す市政の基本的な計画です。

実施計画は、基本計画に定めたまちづくりの基本的な施策を効果的に実施するための具体的な事情施策を明らかにするとともに、財源の裏付けを伴う市政の具体的な計画です。



なお、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づくまち・ひと・しごと創生総合戦略は、少子高齢化や人口減少問題の克服、地域経済の発展や活力ある持続的な地域社会の形成を目的としているものであり、総合計画と目的を同じくしていることから、総合計画と一体の計画として策定しました。

八千代市第5次基本構想

第1章 将来都市像

「人がつながり 未来につなぐ
緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」

・「人がつながり」とは、人と人とのふれあいだけでなく、行政と地域の様々な団体との交流や連携により、市民の誰もが孤立しないまちの姿を表しています。

・「未来につなぐ」とは、先人たちがこれまで築いてきた歴史や文化、豊かな自然環境、活気あふれる産業を次世代へ継承しながら持続するまちの姿を表しています。

・「緑豊かな」とは、市民共通の誇りであり宝である本市の豊かな自然環境に恵まれたまちの姿を表しています。

・「笑顔あふれる」とは、喜びや希望、活気を連想させ、安心して明るく暮らせるまちの姿を表しています。

第2章 基本理念

『誇りと愛着』

市民の誰もがこのまちを愛し、誇りを持ってこのまちに暮らしたい、住んでいたいと思う、そんな魅力あふれるまちづくりを推進します。

『共生と自立』

市民やコミュニティの自主的活動を促進し、市民と行政が互いにパートナーとして共に支え合うまち、自立するまちづくりを推進します。

『安心と安全』

市民の誰もが生涯にわたって、いきいきと安心して暮らすことができるまち、快適で安全な生活が送れる持続可能なまちづくりを推進します。

第3章 将来都市像の実現に向けた5つの柱

- 第1節 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
- 第2節 豊かな心と文化を育むまちづくり
- 第3節 安心・安全に暮らせるまちづくり
- 第4節 快適で環境にやさしいまちづくり
- 第5節 産業が元気なまちづくり

第4章 施策の大綱

- 第1節 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
 - 1 子ども・子育て
 - 2 地域福祉
 - 3 社会保険
 - 4 健康
- 第2節 豊かな心と文化を育むまちづくり
 - 1 教育
 - 2 生涯学習
 - 3 文化
 - 4 スポーツ
- 第3節 安心・安全に暮らせるまちづくり
 - 1 暮らしの安心
 - 2 暮らしの安全
 - 3 上下水道
- 第4節 快適で環境にやさしいまちづくり
 - 1 市街地・住環境の整備
 - 2 総合交通・道路環境の整備
 - 3 環境との共生・保全
 - 4 循環型社会
- 第5節 産業が元気なまちづくり
 - 1 農業
 - 2 商工業
 - 3 労働環境

第5章 構想の推進のために

- 第1節 市民にわかりやすいまちづくりの推進
- 第2節 地域の視点に立ったまちづくりの推進
- 第3節 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
- 第4節 持続可能な行政経営の確立

第6章 土地利用の基本的な方針

今後の土地利用については、豊かな自然環境を保全しつつ、地域特有の資源や本市特有の立地を最大限に活かすため、総合的かつ計画的に行う必要があります。このことから、自然と都市の均衡を図りながら、人口減少・少子高齢化などの社会情勢の変化や、大規模自然災害に備えた地域づくりを踏まえた土地利用を図るものとします。

この方針を前提として、本市の持つ自然的、社会的な特性を踏まえてゾーン別に整理し、基本計画の中で詳細について定めることとします。

前期基本計画 総論

総人口

令和6年(2024)度末には205,000人になるものと想定します。

世帯数・世帯人員

令和6(2024)年度末には95,000世帯(2.16人/世帯)になるものと想定します。

年齢構成

令和6(2024)年度末における年齢別人口及び構成比は、0歳～14歳の年少人口25,900人(構成比12.6%)、15歳～64歳の生産年齢人口127,300人(構成比62.1%)、65歳以上の老年人口51,800人(構成比25.3%)になるものと想定します。

土地利用

本市の土地利用は、市域の南部から中央部にかけての市街化区域と、北部の市街化調整区域に大別されます。

さらに、利用形態では、市街化区域の京成本線沿線の市街地及び東葉高速線沿線に工業団地などを有する市街地、また、市街化調整区域の自然環境を保全する地域と大きく3つに区分されます。

今後も、都市的土地利用と自然的土地利用の調和のとれた良好な土地利用に努めます。

財政

前期基本計画期間(令和3(2021)年度から令和6(2024)年度)における一般会計の財政収支の見通しは、243,799百万円(計画期間累計)となります。

前期基本計画 リーディングプロジェクト

本市が掲げる将来都市像の実現に当たり、総合計画の実効性を高めるため、各部門を横断して先導的な役割を担うべき事業を6つの取組で整理しました。

限られた行政資源を有効に活用しつつ、全庁を挙げて積極的に推進していく意識を全ての職員と共有し、実施に向けて取り組んでまいります。

1 子育てしやすい環境づくりに向けた 取組の推進

若い世代が安心して結婚、妊娠・出産、子育てを行うことができる環境及び子どもたちの学習環境の整備と併せて市の魅力の創出・発信を図り、幅広い年代の流入と定住を促進します。

■ 主な事業

民間保育園等施設整備助成事業 / 公立保育園施設改修事業 / 保育園運営事業 / 民間保育園運営事業 / 産後ケア事業 / 学童保育所整備事業 / 放課後子ども教室推進事業 / ファミリー・サポート・センター運営事業 / 児童一時預かり支援事業 / 子ども医療費助成事業 / 子ども相談センター事業 / 母子(父子)寡婦等福祉事業 / 児童発達支援センター・すてっぷ21大和田整備事業 / 障害者グループホーム整備費補助事業 / 阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業 / 小・中学校施設整備事業 / コンピュータ教育事業 / 外国語指導助手派遣事業 / 青少年指導育成事業 / シティプロモーション事業

2 超高齢社会への対応

市民の健康への意識醸成等を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らすために必要な環境の整備と生活を支えるサービスの提供に努めます。

■ 主な事業

地域共生社会構築事業 / 高齢者運転免許証自主返納支援事業 / 高齢者外出支援事業 / 在宅福祉サービス事業 / 生きがい対策事業 / 介護保険施設整備事業 / 介護保険事業計画策定事業 / 地域ケア会議推進事業 / 大和田地域包括支援センター委託事業 / 基礎福祉年金事業 / 健康まちづくりプラン・いのち支えるまちづくりプラン策定事業 / 成人保健事業 / スポーツ推進事業 / (仮称)八千代市地域公共交通計画策定事業 / 勝田台駅南口エレベーター設置事業

3 安心・安全が目に見えるまちづくりの推進

市民・地域・行政・警察・消防・医療機関・民間企業など広範な関係者との連携・協力のもと、市民が安心して安全に暮らせる地域社会を目指します。

■ 主な事業

地域共生社会構築事業 / 高齢者運転免許証自主返納支援事業 / 健康まちづくりプラン・いのち支えるまちづくりプラン策定事業 / 成人保健事業 / 地域自殺対策事業 / 狂犬病予防等対策事業 / 公的病院等救急医療事業助成事業 / 市民相談事業 / 消費生活センター運営事業 / 防災行政用無線(固定系)デジタル化再整備事業 / 災害用物資備蓄事業 / 勝田川改修事業 / 急傾斜地崩壊対策事業(市) / 急傾斜地崩壊対策事業(県) / 地域排水整備事業 / 準用河川高野川改修事業 / 準用河川花輪川維持補修事業 / 予防業務事業 / 消防庁舎及び消防署等整備事業 / 消防車両等整備事業 / 防犯灯設置事業 / 防犯カメラ設置費補助事業 / 放置自転車等対策事業 / 交通安全施設整備事業 / 通学路整備事業 / 自転車ネットワーク整備事業 / 管路耐震化事業 / 管路改良事業 / 災害時応急給水用機材整備事業 / 雨水管渠整備事業 / 危険コンクリートブロック塀等撤去費補助事業 / 木造住宅耐震診断費等補助事業 / 空家等対策推進事業 / マンション耐震診断費補助事業 / 八千代総合運動公園園法面崩壊対策事業 / 鉄道施設安全対策補助事業 / 公共施設マネジメント事業

4 豊かな自然環境の保全と活用

豊かな自然環境を守り、次世代へ貴重な財産として引き継いでいくとともに、新川及びその周辺を一体的に活用し、市内外から気軽に訪れることができるようなまちづくりを推進します。

■ 主な事業

西八千代地区近隣公園建設事業 / 県立八千代広域公園整備の促進 / 勝田市民の森用地取得事業 / バラ苗配布事業 / 高度処理型浄化槽設置整備事業 / 脱炭素社会推進事業 / 住宅用省エネルギー設備等設置費補助事業 / 浸出水処理施設基幹的設備改良事業 / 農業の郷運営管理事業 / 農業振興地域整備計画策定事業 / 水田再基盤整備事業 / シティプロモーション事業 / 印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業 / 観光資源活用・情報発信事業 / 地域間連携推進事業

5 地域の魅力づくり

(京成本線沿線地域・UR3団地の活性化)

京成本線沿線地域の活性化及び再整備に向けたビジョンを検討するとともに、UR3団地の再生を支援し、地域の活性化を図ります。

■ 主な事業

都市マスタープラン策定事業 / 大和田駅北側地区まちづくり事業 / 八千代台駅周辺活性化推進事業 / 空家等対策推進事業 / 地域担当職員制度事業 / 旧八千代台東第二小学校跡地整備事業 / シティプロモーション事業 / UR都市機構との協議

6 最適な公共サービスの提供

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策を講じつつ、「新たな日常」の構築に向けてデジタル変革の推進に努めます。また、公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用による公共施設等の全体最適化を図り、真に必要なとされる公共サービスを提供します。

■ 主な事業

公立保育園施設改修事業 / 学童保育所整備事業 / 児童発達支援センター・すてっぷ21大和田整備事業 / 阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業 / 小・中学校施設整備事業 / (仮称) 学校給食センター東八千代調理場建設事業 / 消防庁舎及び消防署等整備事業 / 八千代総合運動公園法面崩壊対策事業 / 市ホームページ改修事業 / 新たな市民参画制度創設事業 / 行政評価推進事改修事業 / 情報システム標準化事業 / 公共施設マネジメント事業

前期基本計画 / 部門別計画 第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと 過ごせるまちづくり

誰もが地域で、健やかに暮らせる地域社会を構築するため、市民一人ひとりが地域の中で自分らしく暮らしていける支援やサービス体制の充実を図るとともに、地域で相互に助合う仕組みを整備し、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」を推進します。

第1節 子ども・子育て

1 教育・保育環境（幼児教育）

将来のまちの姿

充実した教育・保育環境が整う子育てしやすいまち

指 標	現況値	目標値
保育園待機児童数	31人	0人

■ 主な事業

- ▶ 民間保育園等施設整備助成事業
- ▶ 公立保育園施設改修事業
- ▶ 保育園運営事業
- ▶ 民間保育園運営事業

2 子育て環境

将来のまちの姿

安心して子育てができる環境が整ったまち

指 標	現況値	目標値
学童保育所待機児童数	134人	0人
子育て支援サイト「にこにこ☆元気」閲覧数	4,612人	7,400人
子育てしやすいまちと感じている市民の割合	43.9%	55%
麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率	97.9%	現状維持

■ 主な事業

- ▶ 産後ケア事業
- ▶ 学童保育所整備事業
- ▶ 放課後子ども教室推進事業
- ▶ ファミリー・サポート・センター運営事業
- ▶ 児童一時預かり支援事業
- ▶ 子ども医療費助成事業

3 子ども・家庭支援

将来のまちの姿

全ての子どもや家庭への支援が整い、子どもの人権が守られているまち

指 標	現況値	目標値
児童虐待に関する研修・講習会受講者数	304人	400人

■ 主な事業

- ▶ 子ども相談センター事業
- ▶ 母子(父子)寡婦等福祉事業

第2節 地域福祉

1 地域共生

将来のまちの姿

一人ひとりが互いを認め合い、支え合いながら誰もが安心して暮らすまち

指 標	現況値	目標値
ボランティア登録数	2,969人	3,130人
ボランティア・地域活動への参加の割合	24.9%	30.0%

■ 主な事業

- ▶ 社会福祉協議会運営補助事業
- ▶ 福祉センター運営管理事業
- ▶ 厚生総務事業
- ▶ 地域共生社会構築事業

2 障害者支援

将来のまちの姿

障害の有無にかかわらず、一人ひとりが互いに自主性や主体性を尊重し、住み慣れた地域で安心して暮らすまち

指 標	現況値	目標値
地域生活支援拠点等の数	0か所	3か所
グループホームの利用者数	96人	150人
福祉避難所の協定締結数	8事業所	11事業所
就労移行支援事業所等を利用して一般就労した人の数	41人	53人
外来児童利用者数	4,404人	4,914人
保育所等訪問支援事業支援児童数	124人	288人

■ 主な事業

- ▶ 児童発達支援センター・すてっぷ21大和田整備事業
- ▶ 障害者グループホーム整備費補助事業
- ▶ 障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業
- ▶ 障害者自立支援事業

3 高齢者支援

将来のまちの姿

高齢者が生涯にわたり健やかで安心して生活を送るまち

指 標	現況値	目標値
高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	29.1%	36%
趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加又は就労している高齢者の割合	61.3%	65%

■ 主な事業

- ▶ 高齢者運転免許証自主返納支援事業
- ▶ 高齢者外出支援事業
- ▶ 在宅福祉サービス事業
- ▶ 生きがい対策事業

4 生活困窮者等支援

将来のまちの姿

生活に困っている人が必要な支援を受けることができ、自立し安定した生活を送るまち

指 標	現況値	目標値
就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合	40.0%	46%
学習支援を受けて高校等へ進学した生徒の割合	100%	現状維持
学習支援を受けて高校等で学習を継続している学生の割合	100%	現状維持

■ 主な事業

- ▶ 生活保護事業
- ▶ 生活困窮者自立支援事業

第3節 社会保険

1 国民健康保険・後期高齢者医療

将来のまちの姿

持続可能な医療保険制度によって、被保険者が健康に暮らすまち

指 標	現況値	目標値
国民健康保険料収納率	93.30%	93.02%
特定健康診査受診率	30.6%	36%

■ 主な事業

- ▶ 医療費適正化特別対策事業
- ▶ 短期人間ドック助成事業
- ▶ 特定健康診査・特定保健指導事業

2 介護保険

将来のまちの姿

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送るまち

指 標	現況値	目標値
利用している介護サービスに不満がない人の割合	24.4%	30.0%
介護保険料収納率（普通徴収）	89.1%	90.0%
地域包括支援センターの認知度	51.9%	60.0%

■ 主な事業

- ▶ 介護保険施設整備事業
- ▶ 介護保険事業計画策定事業
- ▶ 地域ケア会議推進事業
- ▶ 大和田地域包括支援センター委託事業

3 国民年金

将来のまちの姿

市民一人ひとりが、世代間の支え合いという考えのもと年金制度に加入し、将来の安定した生活基盤を築くまち

指 標	現況値	目標値
国民年金保険料現年度納付率	69.9%	74.0%

■ 主な事業

- ▶ 基礎福祉年金事業

第4節 健康

1 保健

将来のまちの姿

誰もが命を大切に、健康づくりに主体的に取り組み、いきいきとした生活を送るまち

指 標	現況値	目標値
自分が健康だと感じている市民の割合	77.8%	80%
65歳平均自立期間	男性18.22年 女性21.13年 (平成28年)	延伸
ゲートキーパー養成講座修了者数	100人	400人
定期的に健康診断・健康診査を受けたり人間ドックを利用する市民の割合	65.0%	70%

■ 主な事業

- ▶ 健康まちづくりプラン・いのち支えるまちづくりプラン策定事業
- ▶ 成人保健事業
- ▶ 地域自殺対策事業
- ▶ 狂犬病予防等対策事業

2 医療

将来のまちの姿

充実した救急医療体制と地域における切れ目のない医療の提供により、誰もが安心して暮らすまち

指 標	現況値	目標値
地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	57.8%	60%

■ 主な事業

- ▶ 公的病院等救急医療事業助成事業
- ▶ 地域医療対策事業



八千代医療センター

前期基本計画／部門別計画 第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

次代を担う子どもたちの健やかな成長を育むため、学習環境や地域の支援体制を整備するとともに、生涯にわたり心の豊かさや充実感、自身の成長をもたらしてくれる学習、文化、スポーツ活動を誰もが気軽にできる環境を整備し、そこで生まれる交流の輪を通じて地域の将来を支える人材の育成に努め、「豊かな心と文化を育むまちづくり」を推進します。

第1節 教育

1 義務教育

将来のまちの姿

安心・安全に学べる環境が整い、持続可能な社会の創り手となる子どもたちが育つまち

指 標	現況値	目標値
校舎及び体育館のトイレの乾式化	64%	75%
外国語教育全時数に対するALT派遣率	61.5%	85%以上
タブレット端末を利用した授業の割合	-	75%
新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合(小学校)	76.6%	80%
新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の生徒の割合(中学校)	77.5%	80%
食物アレルギー対応の品目拡大	2品目 (卵・乳)	7品目 (卵・乳・小麦・ エビ・カニ・ 落花生・そば)

■ 主な事業

- ▶ 阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業
- ▶ 小・中学校施設整備事業
- ▶ (仮称) 学校給食センター東八千代調理場建設事業
- ▶ コンピュータ教育事業
- ▶ 外国語指導助手派遣事業

2 高校・大学教育

将来のまちの姿

大学等教育機関と学びの目指すところや未来の子どもの姿が共有できるまち

指 標	現況値	目標値
教職体験受入校の割合	100%	現状維持

■ 主な事業

- ▶ 八千代教育サミットの開催
- ▶ 大学公開講座の支援

3 青少年健全育成

将来のまちの姿

学校、家庭、地域の連携により青少年健全育成の体制が整い、子どもたちが健やかに成長するまち

指 標	現況値	目標値
青少年育成団体数	51団体	53団体

■ 主な事業

- ▶ 青少年指導育成事業
- ▶ 青少年交流事業
- ▶ 青少年センター運営事業

第2節 生涯学習

1 生涯学習

将来のまちの姿

市民のニーズに対応した学習機会の提供や生涯学習環境の整備により、多くの市民が様々な学習活動に参画するまち

指 標	現況値	目標値
まちづくりふれあい講座の講座数	65講座	70講座
市民一人当たりの年間図書貸出冊数	5.35冊	6冊
公民館まつり来場者数	4,862人	7,400人
生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施数	17回	40回
生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	26.2%	35%

■ 主な事業

- ▶ 総合生涯学習プラザ運営管理事業
- ▶ 公民館運営事業
- ▶ 図書館運営管理事業



華道展

第3節 文化

1 市民文化

将来のまちの姿

市民の自主的な文化芸術活動が推進され、文化芸術が身近に感じられるまち

指 標	現況値	目標値
市民文化祭参加団体数	33団体	35団体
市民文化祭参加者・参観者数	43,837人	55,000人
文化施設利用人数	368,879人	467,000人

■ 主な事業

- ▶ 市民文化振興事業
- ▶ 文化施設運営管理事業

2 文化財

将来のまちの姿

貴重な文化財が保存・活用され、郷土の歴史や文化に親しみが持てるまち

指 標	現況値	目標値
市指定文化財件数	27件	31件
郷土博物館利用者数	21,599人	25,000人
文化伝承館利用者数	9,141人	10,000人

■ 主な事業

- ▶ 文化財保護普及事業
- ▶ 郷土博物館運営事業
- ▶ 文化伝承館運営事業

第4節 スポーツ

1 スポーツ・レクリエーション

将来のまちの姿

スポーツ環境が整備され、市民の誰もがスポーツを楽しむことのできる、健康で活力に満ちたまち

指 標	現況値	目標値
週1回以上のスポーツ実施率	36.6%	50%
スポーツ推進委員依頼講座数	39回	43回
体育施設利用人数	591,339人	703,000人

■ 主な事業

- ▶ スポーツ推進事業
- ▶ 体育施設管理事業

前期基本計画／部門別計画
第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

災害や犯罪、事故などから市民の生命と財産を守るため、防災・消防体制の充実や防犯・交通安全対策など生活環境の整備に努め、迅速で正確な情報発信体制や関係機関との協力体制を推進するとともに、生活の基盤である水道水の安全で安定的な供給と下水道の適正な維持管理に努め、「安心・安全に暮らせるまちづくり」を推進します。

第1節 暮らしの安心

1 市民相談

将来のまちの姿

日常生活の問題や悩みについて、専門家への相談体制が充実しているまち

指 標	現況値	目標値
法律相談を受けて満足した人の割合	76%	80%

■ 主な事業

- ▶ 市民相談事業

2 消費生活

将来のまちの姿

消費者被害に関する情報が誰でも手に入り、安心して商品を購入し消費できるまち

指 標	現況値	目標値
消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っている市民の割合	44.4%	50%

■ 主な事業

- ▶ 消費生活センター運営事業

第2節 暮らしの安全

1 防災・減災

将来のまちの姿

大規模自然災害に対する「強さ」と「しなやかさ」を備え、災害時に誰もが的確に行動できるまち

指 標	現況値	目標値
自主防災組織カバー率	56.4%	66%
避難所運営委員会の設立数	48.5%	100%
防災行政用無線（固定系）のデジタル化	50.4%	100%
急傾斜地崩壊対策整備率	91.4%	93.9%

■ 主な事業

- ▶ 防災行政用無線（固定系）デジタル化再整備事業
- ▶ 災害用物資備蓄事業
- ▶ 急斜面地崩壊対策事業（市）
- ▶ 地中排水整備事業
- ▶ 準用河川花輪川維持補修事業
- ▶ 勝田川改修事業
- ▶ 急斜面地崩壊対策事業（県）
- ▶ 準用河川高野川改修事業

2 消防

将来のまちの姿

消防・救急・救助体制が充実し、火災等の災害から市民の生命や財産が守られるまち

指 標	現況値	目標値
消防団安全装備品貸与率	33.3%	92%
防火水槽数(公設)	449基	461基
応急手当普及率(普通救命講習)	9.9%	10.4%

■ 主な事業

- ▶ 予防業務事業
- ▶ 消防庁舎及び消防署等整備事業
- ▶ 消防車両等整備事業

3 防犯

将来のまちの姿

防犯施設が整備され、地域が一体となって防犯活動を推進し、犯罪から全ての市民が守られるまち

指 標	現況値	目標値
補助金を交付して設置した防犯カメラの台数	0台	40台

■ 主な事業

- ▶ 防犯灯設置事業
- ▶ 防犯カメラ設置費補助事業

4 交通安全

将来のまちの姿

誰もが安心して外出できる、交通事故のない安全なまち

指 標	現況値	目標値
放置自転車の撤去台数	1,308台	1,000台以内

■ 主な事業

- ▶ 放置自転車等対策事業
- ▶ 交通安全施設整備事業
- ▶ 通学路整備事業
- ▶ 自転車ネットワーク整備事業



勝田台 総合防災訓練

第3節 上下水道

1 水道

将来のまちの姿

いつでも、どんなときでも、安全な水が届くまち

指 標	現況値	目標値
市内全域の水道管路における耐震化率	59.3%	64.5%

■ 主な事業

- ▶ 管路耐震化事業
- ▶ 村上給水場施設改良事業
- ▶ 八千代台浄水場施設改良事業
- ▶ 管路改良事業
- ▶ 災害時心急給水用機材整備事業

2 下水道

将来のまちの姿

快適な衛生環境で、浸水被害の少ないまち

指 標	現況値	目標値
水洗化率	99.2%	99.6%
雨水整備率	43.3%	43.5%

■ 主な事業

- ▶ 下水道施設改良事業
- ▶ 污水管渠整備事業
- ▶ 雨水管渠整備事業



菅田浄水場

前期基本計画／部門別計画 第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

将来にわたり快適で自然と調和した都市環境を形成するため、地域ごとの特性を活かした都市機能の充実と緑豊かな自然環境の保全、活用による調和のとれたまちを目指すとともに、持続可能なまちづくりに向けた環境保全活動の推進と循環型社会の形成に向け、地球環境に配慮した「快適で環境にやさしいまちづくり」を推進します。

第1節 市街地・住環境の整備

1 市街地の整備・活性化

将来のまちの姿

地域が持つ特性を活かしたまちづくりが進み、市民と協働で安全で快適なまちづくりのルールづくりが行われ、市街地の整備・活性化が図られているまち

指 標	現況値	目標値
地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じている市民の割合	24.6%	26.6%
地域まちづくり活動団体の登録件数	0件	4件

■ 主な事業

- ▶ 都市マスタープラン策定事業
- ▶ 大和田駅北側地区まちづくり事業
- ▶ 西八千代南部地区まちづくり事業
- ▶ UR都市機構との協議
- ▶ 八千代台駅周辺活性化推進事業

2 住宅

将来のまちの姿

ニーズに応じた住宅の整備や既存住宅ストックの活用により、多様な世帯が安心して住み続けられる住環境が整備されているまち

指 標	現況値	目標値
新築戸建住宅に対する長期優良住宅認定件数の割合	39.2%	増加
住宅の耐震化率	94.5% (平成30年度)	おおむね 解消
管理不全の空家等の割合	55%	減少
市営住宅管理戸数	114戸	127戸

■ 主な事業

- ▶ 危険コンクリートブロック塀等撤去費補助事業
- ▶ 木造住宅耐震診断費等補助事業
- ▶ 空家等対策推進事業
- ▶ マンション耐震診断費補助事業

3 公園・緑地

将来のまちの姿

魅力ある公園・緑地の整備を進め、公園・緑地を恒久的な緑の財産として維持管理し、緑を活かした潤いのあるまち

指 標	現況値	目標値
都市公園の面積	951,100㎡	1,020,000㎡
緑豊かなまちと感じている市民の割合	79.2%	83%
環境美化ボランティア制度実施公園数	66か所	70か所

■ 主な事業

- ▶ 西八千代地区近隣公園建設事業
- ▶ 県立八千代広域公園整備の促進
- ▶ 勝田市民の森用地取得事業
- ▶ 八千代総合運動公園法面崩壊対策事業
- ▶ バラ苗配布事業



黒沢池近隣公園



勝田台中央公園

第2節 総合交通・道路環境の整備

1 総合交通

将来のまちの姿

市民の移動ニーズにきめ細かく対応できる公共交通手段が整ったまち

指 標	現況値	目標値
鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	65.6%	70%
市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合	42.5%	60%
市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合	53.5%	60%
交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合	26.7%	40%

■ 主な事業

- ▶ (仮称) 八千代市地域公共交通計画策定事業
- ▶ 東葉高速鉄道支援事業
- ▶ 鉄道施設安全対策補助事業
- ▶ 勝田台駅南口エレベーター設置事業
- ▶ 公共交通対策事業

2 道路環境

将来のまちの姿

体系的な道路ネットワークの形成や適切な道路の維持管理が行われ、誰もが安心して快適に利用できる環境が整ったまち

指 標	現況値	目標値
道路環境が整っていると感じる市民の割合	38.9%	60%
都市計画道路の整備済延長	45,562m	46,757m
市道の改良整備率	73.0%	73.4%
官民境界の確定進捗率	9.1%	9.6%

■ 主な事業

- ▶ 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(西八千代工区)
- ▶ 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(上高野工区)
- ▶ 都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業
- ▶ 都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業(県事業)
- ▶ 道路改良事業
- ▶ 橋梁補修事業
- ▶ 道路補修事業

第3節 環境との共生・保全

1 生活環境

将来のまちの姿

環境に配慮した生活や事業活動を実施することで快適で衛生的な生活環境が確保されているまち

指 標	現況値	目標値
環境基準達成度	87.5%	89.3%
生活排水処理率	97.1%	98.7%
まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合	70.8%	75%
合葬式墓地の供給数	1,714体分	2,465体分

■ 主な事業

- ▶ 高度処理型浄化槽設置整備事業
- ▶ 地域猫不妊去勢等手術費用助成事業
- ▶ 市営霊園運営管理事業
- ▶ 環境衛生事務事業

2 自然環境

将来のまちの姿

市民一人ひとりが環境負荷の少ない生活を心がけ、豊かな自然環境が保全されているまち

指 標	現況値	目標値
市の事務事業による温室効果ガス排出量	51,746 t-CO ₂ /年	49,159 t-CO ₂ /年
環境学習講座等参加者数	2,126人/年	2,200人/年

■ 主な事業

- ▶ 脱炭素社会推進事業
- ▶ 住宅用省エネルギー設備等設置費補助事業
- ▶ 地球環境保全事業
- ▶ 生物多様性環境保全事業

第4節 循環型社会

1 一般廃棄物

将来のまちの姿

ごみの適正な処理が確保され、ごみの発生抑制やリサイクルが進む循環型社会が形成されているまち

指 標	現況値	目標値
市民1人1日当たりのごみの総排出量 ※()内は資源物を除いた排出量	768g (661g)	707g (599g)
リサイクル率	20.2%	21.5%
一般廃棄物処理量	54,658 t	51,782 t
し尿及び浄化槽汚泥の処理量	11,196 kl/年	10,752 kl/年

■ 主な事業

- ▶ 浸出水処理施設基幹的設備改良事業
- ▶ リサイクル推進事業
- ▶ 衛生センター施設管理事業

前期基本計画／部門別計画 第5章 産業が元気なまちづくり

本市の産業復興を図るため、経営基盤の強化や地域との連携を図りながら、様々な地域資源を活用して各産業が発展することで地域経済の活性化を図るとともに、誰もが生きがいを持って働くことができる就業・雇用機会の確保に努め、「産業が元気なまちづくり」を推進します。

第1節 農業

1 農業振興

将来のまちの姿

都市生活と農業が共存し、新鮮な食材が身近に手に入る豊かな暮らしや実り豊かな風景が守られているまち

指 標	現況値	目標値
体験農園利用者数	28,450人	29,000人
有害鳥獣被害撲滅回数	66頭	150頭
認定農業者数(経営体数)	93件	108件
家族経営協定の締結件数	31件	37件

■ 主な事業

- ▶ 農業の郷運営管理事業
- ▶ 農業振興事業
- ▶ 園芸振興事業
- ▶ 畜産振興事業

2 農地保全

将来のまちの姿

生産基盤の整備や農業経営体の育成が進み、多様な消費者ニーズに応えられる都市型農業が確立したまち

指 標	現況値	目標値
水田の再基盤整備面積	306.5ha	342.1ha
担い手への農地集積面積	278.4ha	335.6ha

■ 主な事業

- ▶ 農業振興地域整備計画策定事業
- ▶ 水田再基盤整備事業



梨園

第2節 商工業

1 商業

将来のまちの姿

多様化する消費者ニーズに対応した魅力ある個店や商店会が増え、身近な買い物の場、交流の場としてにぎわいのあるまち

指 標	現況値	目標値
商店街の空き店舗率	11.1%	7.4%
小売業の年間商品販売額	165,995百万円	現状維持

■ 主な事業

- ▶ 創業支援事業
- ▶ 商工振興事業
- ▶ 中小企業資金融資事業

2 工業

将来のまちの姿

常に将来需要を予測した新たな技術や製品の開発に取り組む工業が営まれているとともに、調和のとれた住環境と操業環境が整ったまち

指 標	現況値	目標値
1事業所当たりの年間出荷額	1,907百万円	1,926百万円

■ 主な事業

- ▶ 商工振興事業
- ▶ 中小企業資金融資事業

第3節 労働環境

1 就業・雇用

将来のまちの姿

事業者が必要な人材を常に雇用できるとともに、働きたい人みんなが働くことができる就業機会が整ったまち

指 標	現況値	目標値
「八千代地域職業相談室」に求職相談した人の就職率	17.1%	19.6%

■ 主な事業

- ▶ 雇用対策事業

前期基本計画 計画の推進のために

第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進

将来のまちの姿

適切な情報管理のもと、市民が知りたい情報が入手でき、伝えるべき市政情報が様々な情報媒体を通じて早く正確でわかりやすく伝えられているまち

市政に参加しやすい行政運営が行われ、市民から寄せられた意見や提案が市政に取り入れられているまち

指 標	現況値	目標値
市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	37.1%	50%
各種審議会等における公募による市民委員の割合	23.1%	25%
市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合	23.4%	30%

■ 主な事業

- ▶ 市ホームページ改修事業
- ▶ 新たな市民参画制度創設事業
- ▶ 情報公開事業
- ▶ 広報発行事業

第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進

将来のまちの姿

地域に暮らす多様な主体（市民、団体、事業者等）が協力・連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいるまち

誰もが主体的にコミュニティ活動に参加し、地域の人と人がつながり、いきいきと暮らしているまち

指 標	現況値	目標値
自治会加入世帯数	50,005世帯	51,000世帯

■ 主な事業

- ▶ 地域コミュニティ推進講座開催事業
- ▶ 地域担当職員制度事業
- ▶ 旧八千代台東第二小学校跡地整備事業
- ▶ コミュニティ推進事業

第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

将来のまちの姿

互いを認め合い、人権が尊重され、誰もが性別や国籍などにとらわれず多様な生き方や働き方を選択でき、個性と能力が発揮できるまち

市民が地域に対する誇りや愛着を持つとともに、本市の認知度やイメージが向上した、住みやすく魅力的なまち

指 標	現況値	目標値
各種審議会等における女性委員の割合	31.5%	40.0%
性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合	30.4%	40%
日本語教室の受講者数	2,356人	3,000人
国際交流イベントの参加者数	1,771人	2,000人
国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合	30.0%	50%
観光入込客数	1,178,240人地点	1,335,000人地点
新川周辺が活性化していると感じている市民の割合	39.5%	55%
今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合	72.4%	80%

■ 主な事業

- ▶ 多言語防災・生活情報発信事業
- ▶ シティプロモーション事業
- ▶ 印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業
- ▶ 観光資源活用・情報発信事業
- ▶ 地域間連携推進事業
- ▶ 男女共同参画センター運営事業
- ▶ 平和事業



新川千本桜復旧応援企画
クリスマスコンサート

第4章 持続可能な行政経営の確立

将来のまちの姿

健全な財政運営の推進により市の事業が円滑に進行され、市民サービスの充実を図りつつ持続可能な市政経営が効果的・効率的に行われているまち

指 標	現況値	目標値
行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合	23.1%	50%
市税徴収率	96.9%	97.0%
公債費負担比率	14.2%	14.0%以下
財政調整基金残高	標準財政規模の約7.0%	標準財政規模の10.0%以上
市債残高	約512億円	450億円以下
公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合	41.0%	50%

■ 主な事業

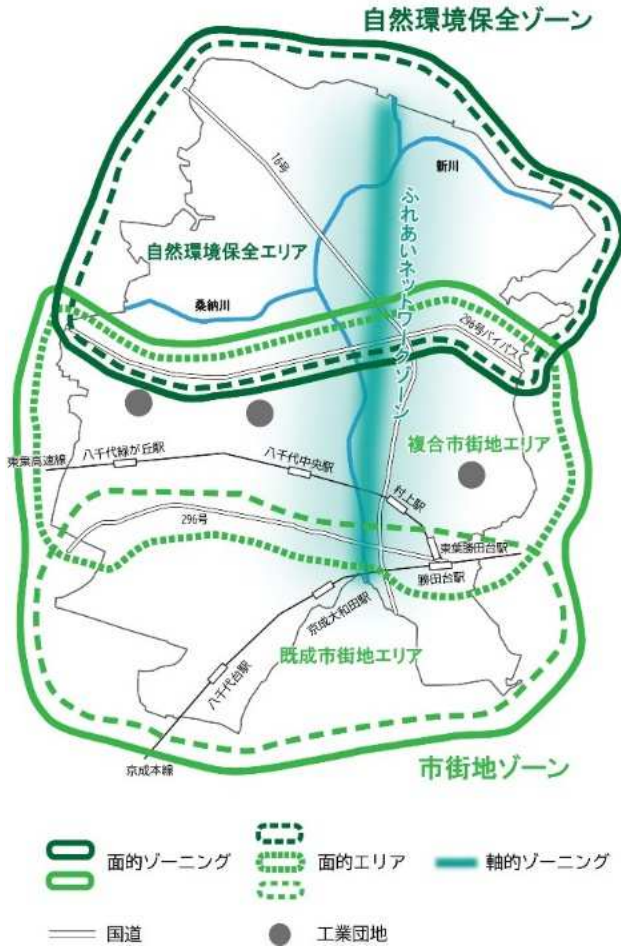
- ▶ 行政組織の見直し
- ▶ 行政評価推進事業
- ▶ 庁舎建設事業
- ▶ 情報システム標準化事業
- ▶ 公共施設マネジメント事業



八千代市の上空から

前期基本計画 ゾーニング計画

ゾーニング計画図



第1章 計画策定の趣旨

土地利用の基本的な方針に基づき、市域の南部を市街地ゾーン、北部を自然環境保全ゾーンの2つの面的ゾーンとして設定します。

面的ゾーンには各ゾーンの中でエリアを設定するとともに、この2つの面的ゾーンを結ぶ軸となる新川及び桑納川周辺をふれあいネットワークゾーンとして地域交流の拠点区域とするなど、それぞれのゾーンにおける整備の方向性を明らかにしたゾーニング計画を定め、市域全体として均衡と調和のとれた将来のまちづくりを進めます。

第2章 面的ゾーニング計画

1 市街地ゾーン

(1) 既成市街地エリア

エリアづくりの方向（概論）

この既成市街地エリアは、市街地形成後、相当の期間が経過しているため、総合的な居住環境や都市機能などの質的向上が求められており、リノベーションの時期を迎えているエリアです。安全で快適な生活環境を整えるため、市街地では少なくなってきた緑の保全に努めながら、鉄道駅を中心とした都市機能の再構築を図り、良好な市街地の形成に努めます。

(2) 複合市街地エリア

エリアづくりの方向（概論）

複合市街地エリアは、東葉高速線沿線での開発や土地区画整理事業により整備された住宅系の地区、駅周辺を中心とした商業系の地区、既存の工業団地が立地する工業系の地区、自然が残されている市街化調整区域が配置されるエリアです。

このため、良好な生活環境を維持しながら、商工業の発展に資するまちづくりに努めます。

2 自然環境保全ゾーン

(1) 自然環境保全エリア

エリアづくりの方向（概論）

自然環境保全エリアは、水田や畑、果樹園などの農地が、豊かな自然環境をつくり出しています。したがって、引き続き農業の振興と農地の保全に努めるとともに、自然環境を活かしていきながら市街地との調和を考慮した土地利用に努めます。

第3章 軸的ゾーニング計画

1 ふれあいネットワークゾーン

施策

- 印旛沼流域の市町及び千葉県と連携し、新川周辺の活性化に取り組みます。
- 交流人口の増加に向け、新川千本桜や周辺のコンテンツ*を活用するとともに、道の駅やちよの集客力向上に努めます。また、併せて施設間の移動手段について検討します。
- 新川及び桑納川周辺に広がる水と緑の空間を保全します。

第1章 計画策定の趣旨

地域において、それぞれが抱えている諸課題に対応し、より魅力のある地域にするため、ゾーニング計画との関連を踏まえつつ、地域ごとの特性や課題に対応したまちづくりに取り組む指針として、地域別計画を定めます。

なお、地域別計画の推進に当たっては、地域に暮らす多様な主体が、互いに協力・連携を図るとともに、地域におけるコミュニティを育み、活性化を図るよう努めるものとします。

1 地域の設定

地域の区分は、地域における歴史、集落・住宅等の一体性、これまでのコミュニティに関する取組を考慮し、阿蘇地域、村上地域、睦地域、大和田地域、高津・緑が丘地域、八千代台地域、勝田台地域の7つを基本とします。



第2章 地域別計画

1 阿蘇地域

恵まれた自然・田園環境の維持・保全に努めていくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用を図るとともに、集落地における生活利便性の向上や市街地における住環境の維持・保全を図るなど、良好な自然環境と住環境が調和した地域づくりを進めます。

児童・生徒数の減少を受け、よりよい教育環境を整えるため、小学校及び中学校を統合し、施設一体型の義務教育学校の設置に向けて取り組みます。

また、道の駅やちよに水辺拠点を、阿宗橋周辺に一里塚を整備し、新たな魅力の創出に努めます。

■ 主な事業

阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業
(仮称) 学校給食センター東八千代調理場建設事業
準用河川高野川改修事業
印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業

2 村上地域

商工業・農業地と住宅地が隣接していることから、住環境に配慮した産業の振興に努めるものとします。

また、勝田台駅北側周辺における駅前広場の整備を検討するほか、県立八千代広域公園内にある中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなど市民の文化・スポーツ活動の中核となる施設の有効活用を図ります。

また、村上団地内に設置した多文化交流センターを活用し、引き続き外国人住民との交流を進めるとともに、村上団地の再生に向けて、UR都市機構と連携を図ります。

そのほか、地域に残る緑地などの自然や歴史的資源を守りながら、自然環境に恵まれた快適な生活空間と安心・安全な地域づくりを進めます。

■ 主な事業

通学路整備事業
村上給水場施設改良事業
県立八千代広域公園整備の促進
都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線(上高野工区)整備事業
浸出水処理施設基幹的設備改良事業

3 睦地域

新川を始めとする水辺環境、優良な水田地域、谷津・里山などの豊かな自然・田園環境を維持・保全していくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用を図ります。

また、やちよ農業交流センターと新川対岸の八千代ふるさとステーションにおいては、農産物の直売や体験型農園のほか、水辺拠点としての整備を行うなど、新たな魅力や価値の創出に努めます。

■ 主な事業

準用河川花輪川維持補修事業
水田再基盤整備事業
印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業
庁舎建設事業

4 大和田地域

八千代総合運動公園や県立八千代広域公園など、新川周辺の水辺空間の環境整備に取り組むほか、文化及びスポーツ・レクリエーションの中心的役割を担う地域として、人・文化・自然がふれあう地域づくりを進めます。

また、地域の主要な生活道路について、人優先の安全を重視した整備を図るとともに、交通の利便性向上に向けた検討を行います。

さらに、京成大和田駅の北側地区においては、事業手法などの検討を地域住民とともに進めます。

■ 主な事業

児童発達支援センター・すてっぴ2 1 大和田整備事業
大和田地域包括支援センター委託事業
通学路整備事業
管路改良事業
大和田駅北側地区まちづくり事業
県立八千代広域公園整備の促進
八千代総合運動公園法面崩壊対策事業
庁舎建設事業

5 高津・緑が丘地域

土地区画整理事業などにより整備された良好な住環境の保全を図るとともに、都市計画道路の整備を促進するなど、国道296号を始めとする交通渋滞を解消し、交通環境の改善に努めます。

また、交通アクセスや行政需要を考慮し、身近な市民サービスの提供を図るとともに、地域内に残る緑地などを活かした公園づくりに取り組むなど、人が集まり賑わいのある地域づくりを進めます。

■ 主な事業

公立保育園施設改修事業
西八千代南部地区まちづくり事業
西八千代地区近隣公園建設事業
都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線（西八千代工区）整備事業

6 八千代台地域

八千代台駅周辺における都市機能の再構築を図るため、地域住民や事業者と一体となって検討を進めるほか、統廃合により廃校となった旧八千代台東第二小学校跡地を地域の賑わい創出の拠点として整備し、地域が主体的に活用することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

また、道路のバリアフリー化を促進することで、誰もが移動しやすく、外出しやすい歩行空間を整備するとともに、市民の森や子供の森など市街地における貴重な緑の維持・保全を図るなど、快適な都市空間の創造に向けた地域づくりを進めます。

■ 主な事業

公立保育園施設改修事業
消防庁舎及び消防署等整備事業
八千代台浄水場施設改良事業
八千代台駅周辺活性化推進事業
都市計画道路3・4・1 2号八千代台南勝田台線整備事業
都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線（県事業）整備事業
旧八千代台東第二小学校跡地整備事業

7 勝田台地域

勝田台駅周辺における都市機能の再構築を図るため、地域住民や事業者と一体となって検討を進めるほか、南口駅前広場のバリアフリー化を図ります。

また、計画的に整備された住宅地については、今後とも良好な住環境として維持・保全するとともに、地域南部の田園風景が守られるよう市街化を抑制するなど、住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めます。

■ 主な事業

勝田川改修事業
放置自転車等対策事業
勝田市民の森用地取得事業
勝田台駅南口エレベーター設置事業

第2期八千代市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

第1章 趣旨

我が国では、少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持するため、平成26(2014)年にまち・ひと・しごと創生法を制定しました。本市においても、「八千代市人口ビジョン(平成28(2016)年3月)」における人口の現状分析及び将来展望等を踏まえ、平成28(2016)年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組を進めてきました。

同戦略の計画期間満了に伴い策定する「第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、総合戦略の趣旨である少子高齢化や人口減少問題の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成は総合計画と目的を同じくしていることから、第5次総合計画と一体的に策定しました。

また、計画期間については前期基本計画と合わせ、目標年次を令和6(2024)年度とし、具体的な取組と重要業績評価指標(KPI)については、実施計画に位置づけて事業を推進していきます。

第2章 目指すべき展望

八千代市人口ビジョン(令和2年改訂版)における人口の将来展望を踏まえ、合計特殊出生率を向上させ、市民の希望出生率

(1.87)、あるいは人口置換水準(2.07)と同程度に近づけること、また、若い世代を中心とした転入超過の流れを継続させることで、令和42(2060)年時の本市の人口が、将来人口推計値の約17万3,000人を上回ることを目標とします。

平成31(2019)年
198,965人



令和42(2060)年
約173,000人+α

横断的な視点と基本目標

横断的な視点1 多様な人材の活躍を推進する

横断的な視点2 新しい時代の流れを力にする

基本目標

基本目標1

それぞれの結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

【数値目標】

指標	現況値	目標値
保育園待機児童数	31人	0人
子育てしやすいまちと感じている市民の割合	43.9%	55%

基本目標2

やちよの魅力を創出し、新しい人の流れをつくる

【数値目標】

指標	現況値	目標値
今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合	72.4%	80%
新川周辺が活性化していると感じている市民の割合	39.5%	55%
観光入込客数	1,178,240人地点	1,335,000人地点

基本目標3

魅力あるしごとをつくり、地域経済の稼ぐ力を高める

【数値目標】

指標	現況値	目標値
小売業の年間商品販売額	165,995百万円	現状維持
認定農業者数(経営体数)	93件	108件

基本目標4

誰もが安心して暮らせる持続可能なまちをつくる

【数値目標】

指標	現況値	目標値
自主防災組織カバー率	56.4%	66%
地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	52.4%	55%
65歳平均自立期間	男性18.22年 女性21.13年 (平成28年)	延伸

八千代市第5次総合計画
八千代市第5次基本構想 前期基本計画
ダイジェスト版

発行日／令和3年3月
発 行／八千代市
編 集／企画部 企画経営課
住 所／〒276-8501
千葉県八千代市大和田新田312-5
TEL 047-483-1151（代表）
FAX 047-484-8824（代表）
URL <http://www.city.yachiyo.chiba.jp>
E-mail seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp

八千代市第5次総合計画

人がつながり 未来につなぐ
緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ

前期実施計画

〔令和3年度～令和5年度版〕

令和3年3月



INDEX

■第1部 総論

第1章 計画策定の趣旨	2
第2章 計画の位置づけ	2
第3章 計画策定の背景等	3
第4章 計画の性格	3
第5章 計画の期間	4
第6章 人口の見通し	4
第7章 財政収支の見通し	5
第8章 部門別計画・施策体系図	6
第9章 計画の推進のために・施策体系図	7
第10章 施策体系別計画事業費	8

■第2部 各論

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て	12
1. 教育・保育環境(幼児教育)	12
2. 子育て環境	13
3. 子ども・家庭支援	15
第2節 地域福祉	16
1. 地域共生	16
2. 障害者支援	17
3. 高齢者支援	19
4. 生活困窮者等支援	21
第3節 社会保険	22
1. 国民健康保険・後期高齢者医療	22
2. 介護保険	23
3. 国民年金	25
第4節 健康	26
1. 保健	26
2. 医療	27

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育	30
1. 義務教育	30
2. 高校・大学教育	33
3. 青少年健全育成	34
第2節 生涯学習	35
第3節 文化	36
1. 市民文化	36
2. 文化財	37
第4節 スポーツ	38

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第1節 暮らしの安心	39
1. 市民相談	40
2. 消費生活	41
第2節 暮らしの安全	42
1. 防災・減災	42
2. 消防	45
3. 防犯	47
4. 交通安全	48
第3節 上下水道	50
1. 水道	50
2. 下水道	52

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備	56
1. 市街地の整備・活性化	56
2. 住宅	58
3. 公園・緑地	60
第2節 総合交通・道路環境の整備	62
1. 総合交通	62
2. 道路環境	64
第3節 環境との共生・保全	67
1. 生活環境	67
2. 自然環境	69
第4節 循環型社会	71

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業	74
1. 農業振興	74
2. 農地保全	75
第2節 商工業	76
1. 商業	76
2. 工業	77
第3節 労働環境	78

■第3部 計画の推進のために

第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	80
第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進	82
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	84
第4章 持続可能な行政経営の確立	87

第1部 総論

第1章 計画策定の趣旨

本実施計画は、八千代市第5次基本構想の将来都市像である「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」の実現を目指し、八千代市第5次総合計画前期基本計画に示された基本的な施策を計画的・効果的に推進していくために必要な事業を掲げたもので、毎年度の予算編成及び事業実施の具体的な指針となるものです。

第2章 計画の位置づけ

基本構想

長期的な視点から、本市のまちづくりを進める上での将来都市像と基本理念を示すとともに、将来都市像の実現に向けた施策の大綱を示しています。



基本計画

基本構想を実現するため、重点的に実施する施策を位置づけるほか、まちづくりの基本的な施策を体系的に示す計画です。



実施計画

基本計画において定められた施策を効果的に実施するための具体的な事業を示したものです。



予 算



事業執行

第3章 計画策定の趣旨

本市では、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、総合計画を策定し、将来都市像の実現に向けた施策を推進してきました。第4次基本構想では、都市と自然とのバランスに優れたまちとしての特性を活かし、市民の誰もが誇りと愛着を持って暮らすことができる、やすらぎに満ちたまちを創造していくため、将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定め、各施策を推進してきました。

今後の人口の動向については、令和7（2025）年をピークとして人口減少に転じることが見込まれ、これまでの人口増を前提とした行政運営とは大きく異なってくることから、今後の地域の変化や新たな行政課題の対応に向けた準備を着実に図っていく必要があります。

このことから、人口減少、超高齢社会の影響を踏まえた展望を描き、社会経済情勢の変化に対応しながら、持続可能な発展を目指した長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的にまちづくりを進める指針として、第5次総合計画を策定しました。

実施計画事業の執行にあたっては、事業の進捗及び効果の検証を行い、効率的で効果的な行政運営に努めるとともに、十分かつ積極的な情報公開、情報提供を図り、新たな将来都市像である「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」の実現を目指したまちづくりを推進していきます。

第4章 計画の性格

本実施計画は、前期実施計画として、八千代市第5次総合計画前期基本計画に定められた基本的な施策を計画的・効果的に実施するために策定するもので、毎年度ローリング（見直し・改訂）を実施します。

第7章 財政収支の見通し

本実施計画期間中の財政収支の見通しは、新型コロナウイルス感染症に伴う経済状況の悪化に伴い、財政の根幹をなす市税の減収が懸念されま

す。
また、歳出においては、今後も扶助費、物件費、公債費などの増が見込まれ、普通建設事業などの投資的経費や新規事業に取り組む財源の確保が困難な状況になることが見込まれます。

このような中、本市の持つ魅力を最大限に活かした施策に加え、将来見込まれる人口減少への対応に向けた施策の推進が求められています。

このため、前期実施計画に掲げた事業の推進にあたっては、創意工夫による、一層の財源確保を図るとともに、施策の効率的かつ効果的な推進に努めるものとします。

■財政収支の見通し（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）

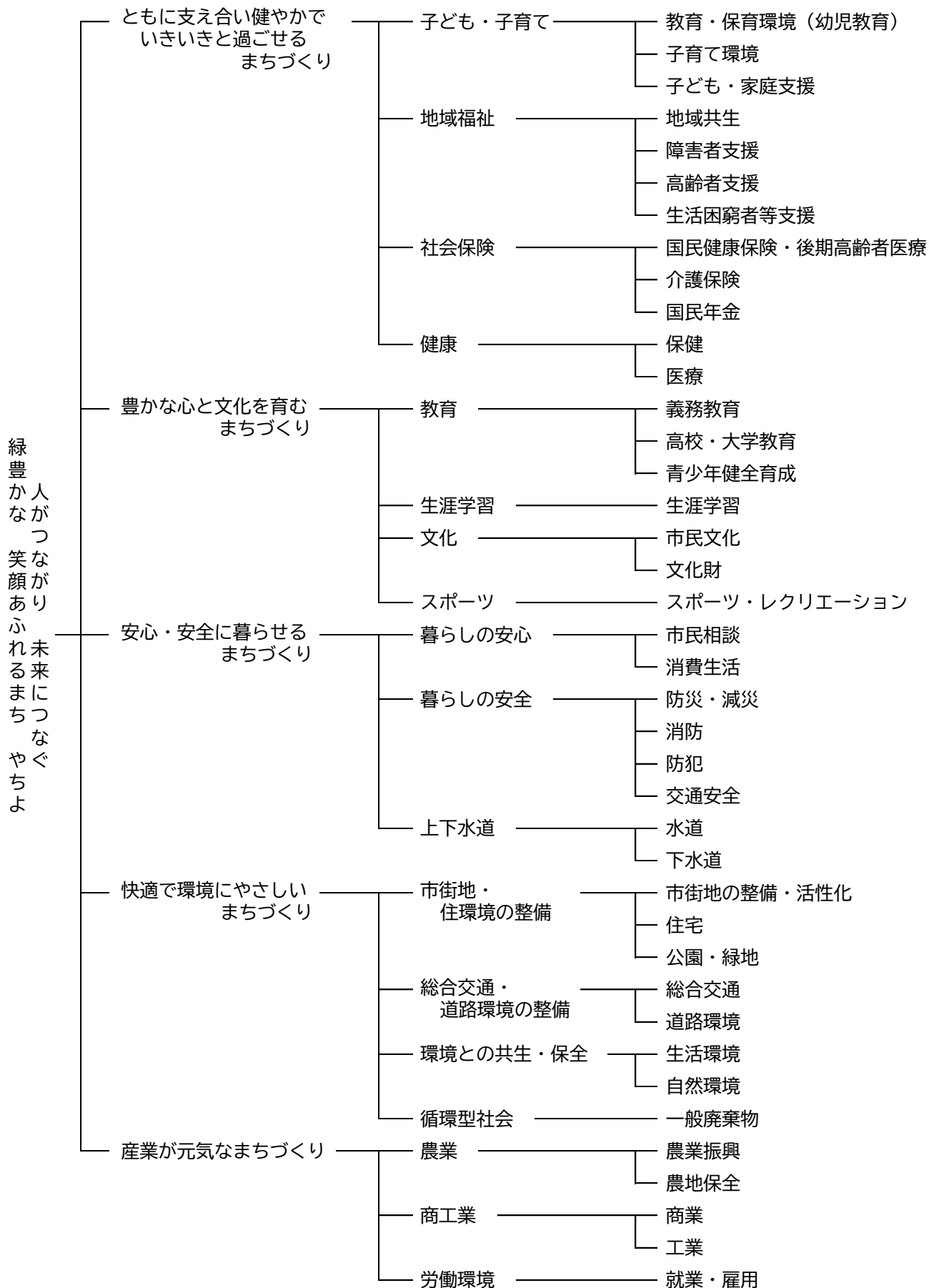
区 分		金 額	構 成 比
歳 入	合計	182,323 百万円	100.0%
	市税	86,522	47.5
	交付税・交付金	21,162	11.6
	国・県支出金	46,825	25.7
	市債	10,985	6.0
	その他	16,829	9.2
歳 出	合計	182,323 百万円	100.0%
	人件費	34,207	18.8
	扶助費	53,858	29.5
	公債費	17,442	9.6
	物件費	34,545	18.9
	普通建設事業費	14,774	8.1
	その他	27,497	15.1

※歳入のその他は、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、繰入金、諸収入等

※歳出のその他は、補助費等、維持補修費、積立金、繰出金等

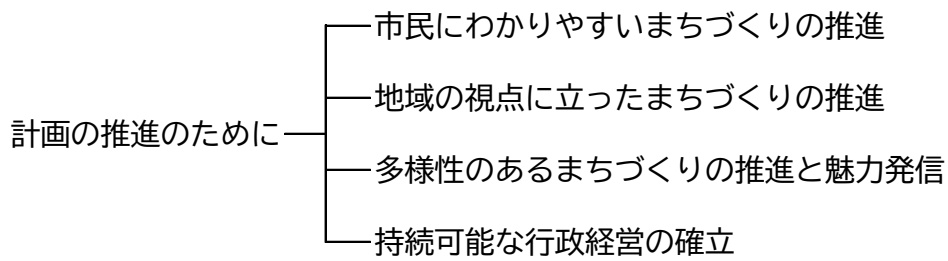
※新庁舎建設に係る費用は、財政収支の見通しに含めていない。

第8章 部門別計画・施策体系図



第9章

計画の推進のために・施策体系図



第10章 施策体系別計画事業費

(単位:千円)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	
第1章 ともに支え合い 健やかでいきいきと 過ごせるまちづくり	事業費	539,243	1,134,178	463,022	2,136,443	
	財源内訳	国・県支出金	96,610	163,595	4,747	264,952
		地方債	245,900	709,900	294,300	1,250,100
		その他	7,587	12,762	7,667	28,016
		一般財源	189,146	247,921	156,308	593,375
第2章 豊かな心と文化を 育むまちづくり	事業費	562,666	2,810,546	841,385	4,214,597	
	財源内訳	国・県支出金	15,000	270,500		285,500
		地方債		1,412,400		1,412,400
		その他				
		一般財源	547,666	1,127,646	841,385	2,516,697
第3章 安心・安全に 暮らせるまちづくり	事業費	5,783,778	3,119,619	2,416,756	11,320,153	
	財源内訳	国・県支出金	541,911	361,652	191,735	1,095,298
		地方債	3,408,500	1,353,800	1,254,700	6,017,000
		その他	2,509	51,559	55,966	110,034
		一般財源	1,830,858	1,352,608	914,355	4,097,821
第4章 快適で環境に やさしいまちづくり	事業費	1,289,867	2,219,448	2,218,165	5,727,480	
	財源内訳	国・県支出金	259,988	466,051	797,109	1,523,148
		地方債	446,400	776,400	978,800	2,201,600
		その他	2,976			2,976
		一般財源	580,503	976,997	442,256	1,999,756
第5章 産業が 元気なまちづくり	事業費	8,436	40,666	42,676	91,778	
	財源内訳	国・県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	8,436	40,666	42,676	91,778
計画の推進 のために	事業費	611,584	815,378	1,601	1,428,563	
	財源内訳	国・県支出金				
		地方債	218,700	50,500		269,200
		その他	259,652	746,360		1,006,012
		一般財源	133,232	18,518	1,601	153,351
合 計	事業費	8,795,574	10,139,835	5,983,605	24,919,014	
	財源内訳	国・県支出金	913,509	1,261,798	993,591	3,168,898
		地方債	4,319,500	4,303,000	2,527,800	11,150,300
		その他	272,724	810,681	63,633	1,147,038
		一般財源	3,289,841	3,764,356	2,398,581	9,452,778

・水道事業会計、公共下水道事業会計および特別会計等にかかわる事業費を含む。

第2部 各論

第1章 ともに支え合い健やかで いきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

第2節 地域福祉

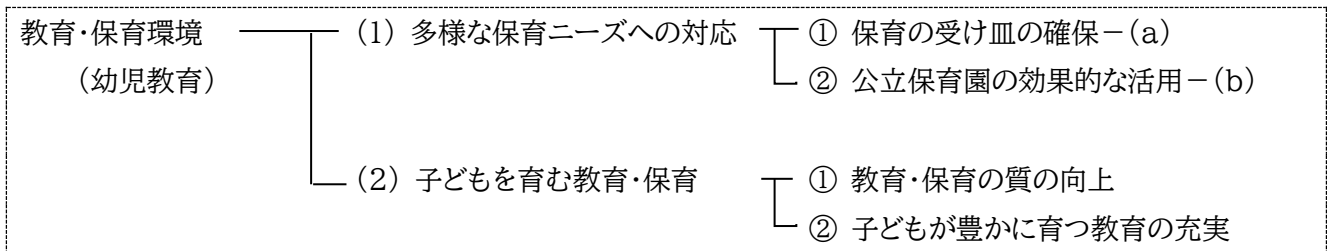
第3節 社会保険

第4節 健康

第1節 子ども・子育て

1 教育・保育環境(幼児教育)

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
保育園待機児童数	31人	0人(令和7年4月1日)

■計画事業

事業名	(a)民間保育園等施設整備助成事業	担当課	子育て支援課		
事業概要	民間保育園等への施設整備に対する助成を行う。	指標(目標)	企業主導型保育施設整備 ⇒4施設		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

事業名	(b)公立保育園施設改修事業	担当課	子ども保育課		
事業概要	公立保育園の施設改修等を行い,安心安全な保育環境を整備する。	指標(目標)	公立保育園の耐震補強等の整備施設数⇒2施設		
		年度計画	R3	R4	R5
			基本設計 実施設計	工事	工事

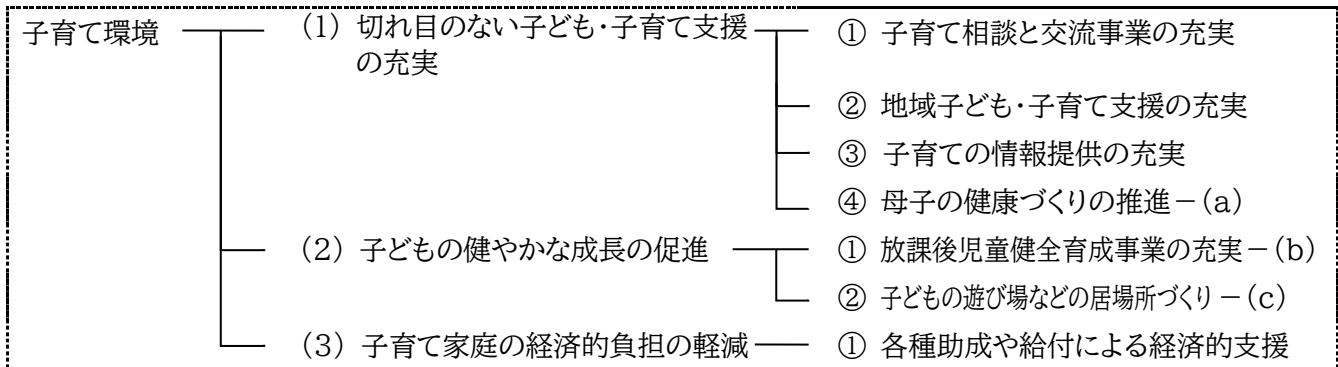
■主な現行事業

- 幼稚園教育総務事業
- 保育園運営事業
- 子ども保育総務事業
- 民間保育園運営事業

第1節 子ども・子育て

2 子育て環境

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
学童保育所待機児童数	134 人	0 人 (令和7年4月1日)
子育て支援サイト「にこにこ☆元気」閲覧数	4,612 人	7,400 人
子育てしやすいまちと感じている市民の割合	43.9 %	55.0 %
麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率	97.9 %	現状維持

■計画事業

事業名	(a)産後ケア事業	担当課	母子保健課		
事業概要	産後に支援を必要とする出産後1年以内の母親とその子を対象に、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後の生活を支援する。	指標(目標)	利用により安心して育児ができたと思う人の割合 100% ⇒現状維持		
			年度計画	R3	R4
		実施		実施	実施

事業名	(b)学童保育所整備事業	担当課	子育て支援課		
事業概要	学童保育所の新設及び余裕教室等を活用した既存学童保育所の定員拡大を実施する。	指標(目標)	学童保育所定員数 1,585人⇒1,845人		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事	工事	

事業名	(c)放課後子ども教室推進事業	担当課	子育て支援課		
事業概要	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、様々な体験活動や交流活動を実施するため、放課後子ども教室を新規開設する。	指標(目標)	放課後子ども教室登録児童数 242人⇒3,376人		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施	実施	実施

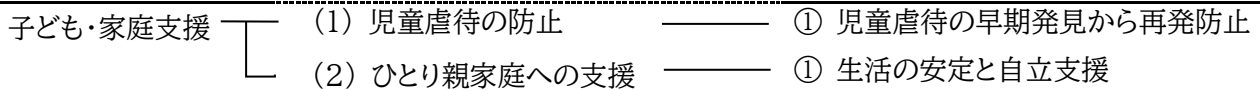
■主な現行事業

- | | |
|--------------------|--------------|
| ●ファミリー・サポート・センター事業 | ●児童一時預かり支援事業 |
| ●すてっぷ21事業 | ●子ども医療費助成事業 |
| ●予防接種事業 | ●母子保健事業 |

第1節 子ども・子育て

3 子ども・家庭支援

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
児童虐待に関する研修・講習会受講者数	304 人	400 人

現行事業は実施しますが、計画事業がない場合があります。
(次ページ以降も同様です。)

■主な現行事業

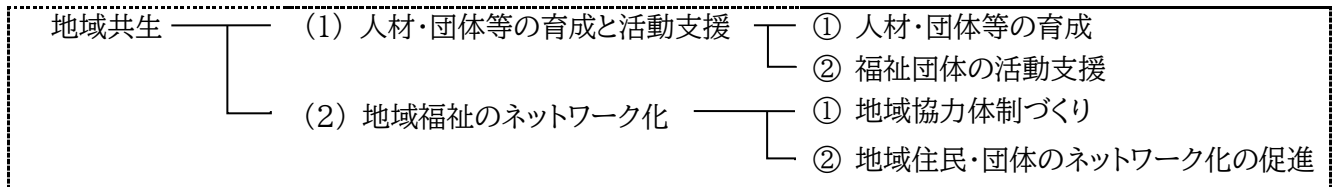
●子ども相談センター事業

●ひとり親家庭への相談支援

第2節 地域福祉

1 地域共生

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
ボランティア登録数	2,969 人	3,130 人
ボランティア・地域活動への参加の割合	24.9 %	30.0 %

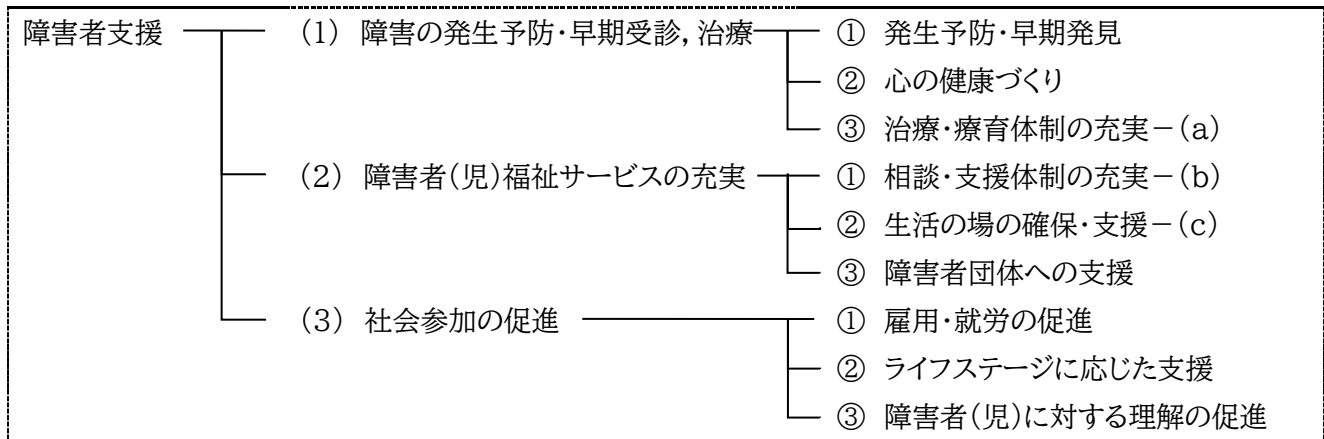
■主な現行事業

- 厚生総務事業
- 社会福祉協議会運営補助事業
- 地域共生社会構築事業
- 保健衛生総務事業
- 福祉センター運営管理事業

第2節 地域福祉

2 障害者支援

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
地域生活支援拠点等の数	0 箇所	3 箇所
グループホームの利用者数	96 人	150 人
福祉避難所の協定締結数	8 事業所	11 事業所
就労移行支援事業所等を利用して一般就労した人の数	41 人	53 人
外来児童利用者数	4,404 人	4,914 人
保育所等訪問支援事業支援児童数	124 人	288 人

■ 計画事業

事業名	(a)児童発達支援センター・すてっぷ21大和田整備事業	担当課	障害者支援課		
事業概要	老朽化している児童発達支援センター及び子ども支援センターすてっぷ21大和田を複合施設として整備する。	指標(目標)	施設の供用開始		
		年度計画	R3	R4	R5
	実施設計 工事		工事	工事	

事業名	(b)障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業	担当課	障害者支援課		
事業概要	第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画が、令和5年度をもって計画期間を満了することから、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査	計画 策定	

事業名	(c)障害者グループホーム整備費補助事業	担当課	障害者支援課		
事業概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する共同生活援助に係る障害福祉サービス事業を実施するグループホームを、社会福祉法人等が市内に整備するために要する費用を助成する。	指標(目標)	助成する事業者数 ⇒3 事業者		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	

■ 主な現行事業

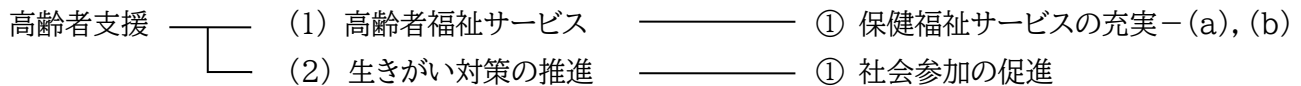
- 障害者自立支援事業
- 障害児通所等支援事業

- 障害者援護事業

第2節 地域福祉

3 高齢者支援

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	29.1 %	36.0 %
趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に 参加又は就労している高齢者の割合	61.3 %	65.0 %

■計画事業

事業名	(a)高齢者外出支援事業	担当課	長寿支援課		
事業概要	バス停又は駅から一定程度離れた区域に住 住している高齢者を対象に、タクシー運賃の 一部を助成する。	指標(目標)	移動手段の不便さ(在宅要支援 者) 43%⇒40%		
			年度計画	R3	R4
		助成		助成	助成

事業名	(b)高齢者運転免許証自主返納支援事業	担当課	長寿支援課		
事業概要	運転経歴証明書の交付を受けている高齢者 に対し、タクシー利用券を交付する。	指標(目標)	在宅要介護者の最も多く利用する 移動手段である車の割合を減らす ことで交通事故を減らすこと 5.1%⇒2.5%		
			年度計画	R3	R4
		実施		実施	実施

■主な現行事業

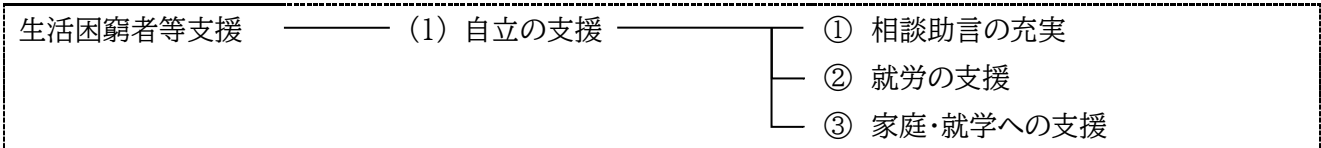
●在宅福祉サービス事業

●生きがい対策事業

第2節 地域福祉

4 生活困窮者等支援

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合	40.0 %	46.0 %
学習支援を受けて高校等へ進学した生徒の割合	100 %	現状維持
学習支援を受けて高校等で学習を継続している学生の割合	100 %	現状維持

■主な現行事業

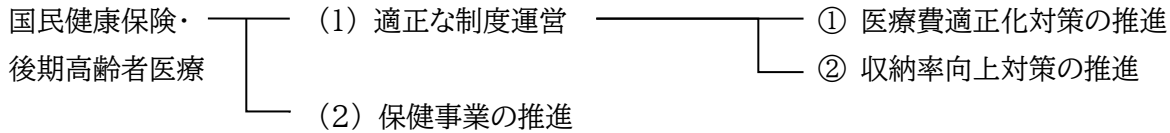
●生活保護事業

●生活困窮者自立支援事業

第3節 社会保険

1 国民健康保険・後期高齢者医療

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
国民健康保険料収納率(現年分)	90.30 %	93.02 %
特定健康診査受診率	30.6 %	36.0 %

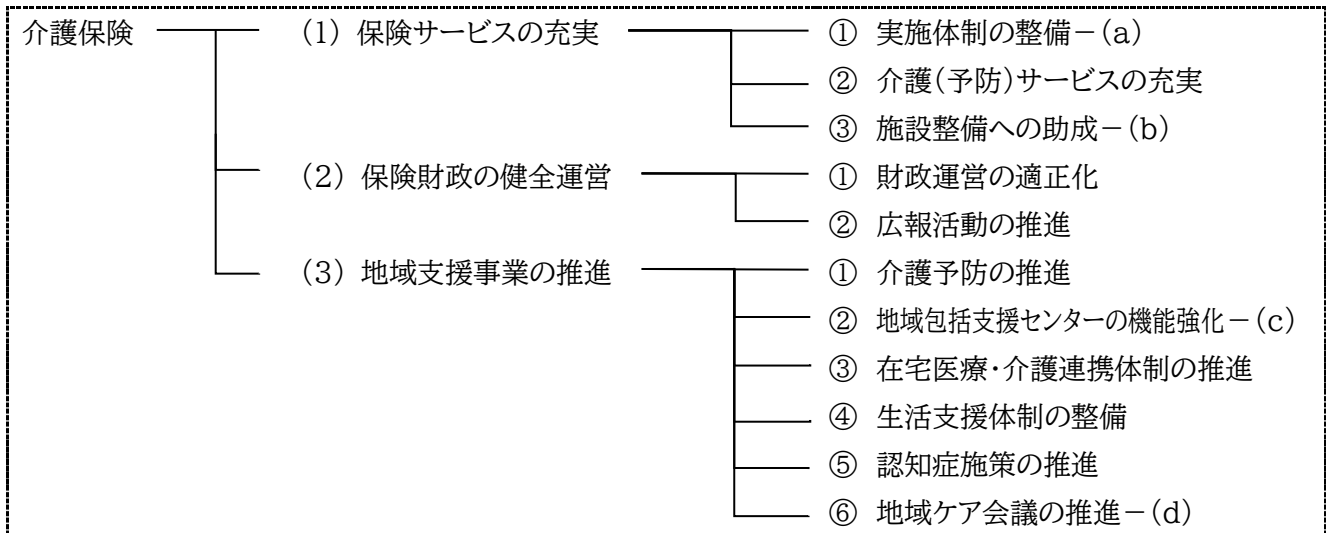
■主な現行事業

- 医療費適正化特別対策事業
- 短期人間ドック助成事業
- 賦課徴収事業
- 後期高齢者医療保険料徴収事業
- 健康増進事業
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 特定健康診査・特定保健指導事業

第3節 社会保険

2 介護保険

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
利用している介護サービスに不満がない人の割合	24.4 %	30.0 %
介護保険料収納率(普通徴収)	89.1 %	90.0 %
地域包括支援センターの認知度	51.9 %	60.0 %

■計画事業

事業名	(a)介護保険事業計画策定事業	担当課	長寿支援課		
事業概要	介護保険事業を総合的に推進するため、介護保険法の規定に基づき、保健・医療・福祉の連携のもと、3年ごとに介護保険事業計画を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3	R4	R5
				調査	計画策定

事業名	(b)介護保険施設整備事業	担当課	長寿支援課		
事業概要	介護保険事業計画に位置づけた施設を整備する事業者の公募, 選定された地域密着型サービスに係る施設の整備費用及び備品購入費等の開設準備費用について助成する。	指標(目標)	介護保険事業計画に位置づけた各施設等の整備		
		年度計画	R3	R4	R5
			選定委員会	助成	選定委員会

事業名	(c)大和田地域包括支援センター委託事業	担当課	長寿支援課 地域包括支援センター		
事業概要	大和田地域包括支援センターを委託し, 地域包括支援センターの統括や後方支援の機能を高める。	指標(目標)	高齢者の幸福度(高齢者一般, 在宅要支援要介護者) 7.19点/10点⇒8.0点/10点 ※高齢者等の保健福祉・介護保険ニーズ調査による		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査検討	実施	

事業名	(d)地域ケア会議推進事業	担当課	長寿支援課 地域包括支援センター		
事業概要	地域ケア会議を各地域包括支援センターで行い, 個別事例の支援について多角的な視点から検討することにより, 個別課題の解決を図る。 また, 事例検討を通して, 介護支援専門員等の自立支援に資するケアマネジメント能力の向上や地域の関係機関等の相互連携を高め, 地域のネットワークを構築する。	指標(目標)	高齢者の幸福度(高齢者一般, 在宅要支援要介護者) 7.19点/10点⇒8.0点/10点 ※高齢者等の保健福祉・介護保険ニーズ調査による		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施	実施	実施

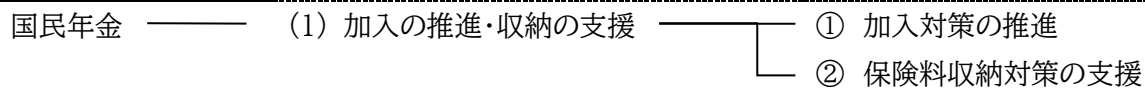
■主な現行事業

- | | |
|----------------|-------------|
| ●在宅医療・介護連携推進事業 | ●生活支援体制整備事業 |
| ●認知症総合支援事業 | ●賦課徴収事業 |

第3節 社会保険

3 国民年金

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
国民年金保険料現年度納付率	69.9 %	74.0 %

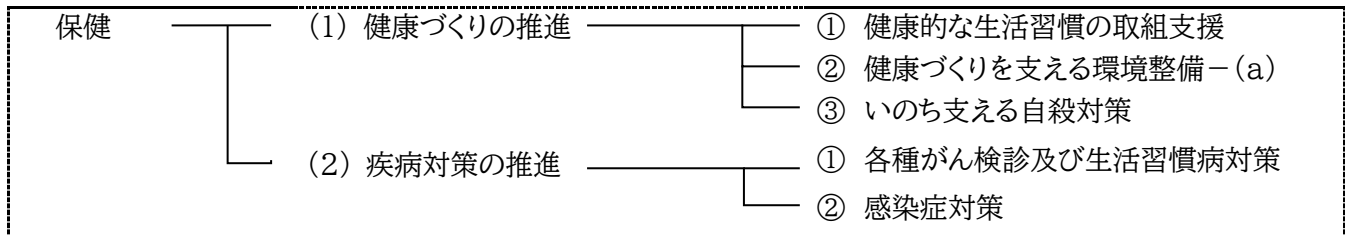
■主な現行事業

- 基礎福祉年金事業

第4節 健康

1 保健

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
自分が健康だと感じている市民の割合	77.8 %	80.0 %
65歳平均自立期間	男性 18.22年 女性 21.13年 (平成28年)	延伸
ゲートキーパー養成講座修了者数	100人	400人
定期的に健康診断・健康診査を受けたり人間ドックを利用する市民の割合	65.0 %	70.0 %

■計画事業

事業名	(a)健康まちづくりプラン・いのち支えるまちづくりプラン策定事業	担当課	健康づくり課		
事業概要	第2次健康まちづくりプラン(改訂版)の計画期間が, 令和4年度で満了することから, 第3次健康まちづくりプラン等を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査	計画策定	

■主な現行事業

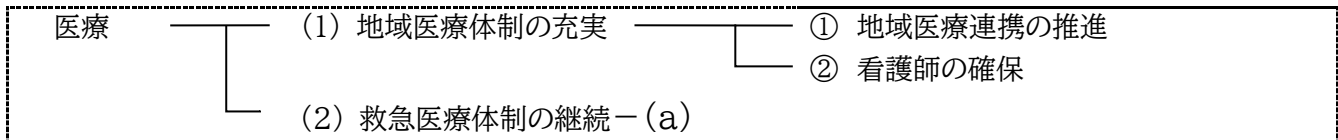
- 成人保健事業
- 地域自殺対策事業

- 健康づくり推進事業

第4節 健康

2 医療

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	57.8 %	60.0 %

■計画事業

事業名	(a)公的病院等救急医療事業補助事業	担当課	健康福祉課		
事業概要	市内の公的病院等が提供する救急医療の運営に要する経費に対して補助する。	指標(目標)	救急医療体制の確保		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

■主な現行事業

- 地域医療対策事業

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

第2節 生涯学習

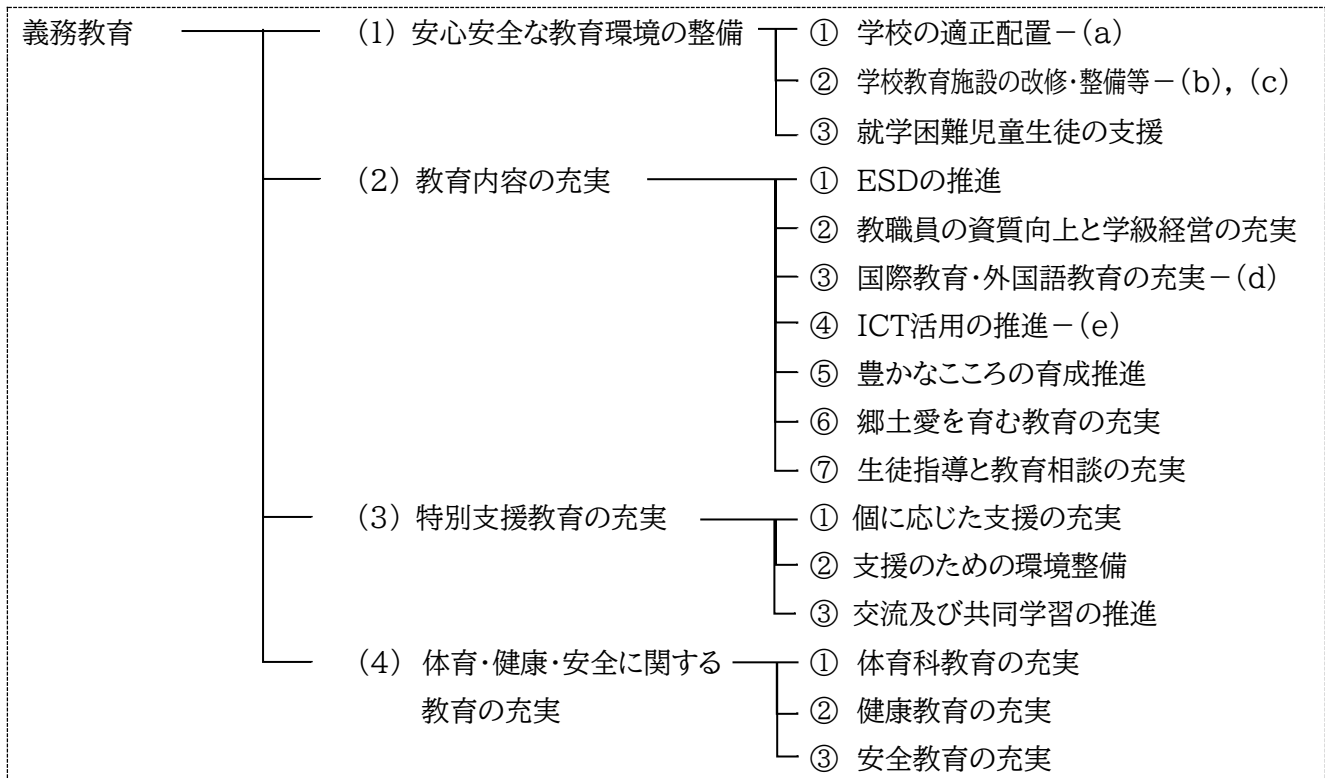
第3節 文化

第4節 スポーツ

第1節 教育

1 義務教育

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
校舎及び体育館のトイレの乾式化	64 %	75 %
外国語教育全時数に対するALT派遣率	61.5 %	85 %以上
タブレット端末を利用した授業の割合	—	75 %
新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合(小学校)	76.6 %	80.0 %
新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の生徒の割合(中学校)	77.5 %	80.0 %
食物アレルギー対応の品目拡大	2品目 (卵・乳)	7品目 (卵・乳・小麦・エビ・カニ・落花生・そば)

■ 計画事業

事業名	(a)阿蘇・米本地域義務教育学校の設立事業	担当課	学務課		
事業概要	阿蘇小学校, 米本小学校, 米本南小学校, 及び阿蘇中学校を統合し, 施設一体型の小中一貫校(義務教育学校)を設置するため, 設立準備委員会を設置し, 開校に向けた準備を進める。	指標(目標)	小中一貫校の開校		
		年度計画	R3	R4	R5
設立準備委員会 開催	開校				

事業名	(b)小・中学校施設整備事業	担当課	教育総務課		
事業概要	公共施設個別施設計画(学校長寿命化計画)に基づき各小中学校を計画的に改修する。	指標(目標)	校舎及び体育館のトイレの乾式化 64%⇒75%		
		年度計画	R3	R4	R5
工事			設計		

事業名	(c)(仮称)学校給食センター東八千代調理場建設事業	担当課	保健体育課		
事業概要	老朽化が進む村上調理場に代わる施設として, 東八千代調理場にPFI手法を導入し, 整備等を行う。	指標(目標)	アレルギーによる給食辞退者数 16人⇒5人		
		年度計画	R3	R4	R5
整備	整備 開設				

事業名	(d)外国語指導助手派遣事業	担当課	指導課		
事業概要	小中学校に ALT を派遣することにより, 外国語を習得し, 国際教育・外国語教育の充実を図る。	指標(目標)	ALT派遣人数 12名⇒増員		
		年度計画	R3	R4	R5
推進	推進		推進		

事業名	(e)コンピュータ教育事業	担当課	教育センター		
事業概要	GIGAスクール構想に基づき, システム整備を行う。	指標(目標)	タブレット端末を利用した授業の割合 75%		
		年度計画	R3	R4	R5
整備	検討 推進		検討 推進		

■ 主な現行事業

- 小・中学校管理事業
- 学校適正配置検討事業
- 特別支援教育振興事業
- 学校体育事業
- 学校給食センター業務事業
- 教育振興事業
- 就学児童・生徒援助事業
- 教育研修事業
- 就学児童・生徒給食費等援助事業
- 学校保健事業

第1節 教育

2 高校・大学教育

■施策の体系

高校・大学教育 ——— (1) 大学等教育機関との連携

■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
教職体験受入校の割合	100 %	現状維持

■主な現行事業

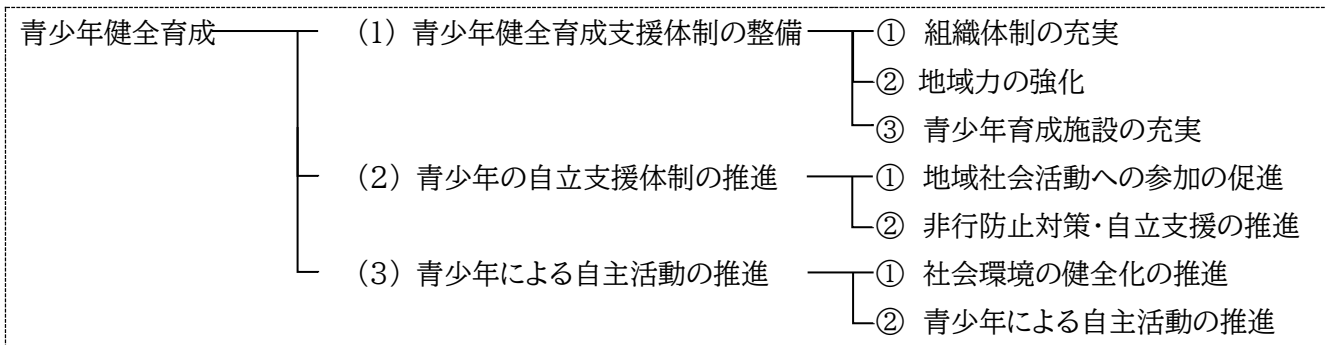
●八千代教育サミットの開催

●大学公開講座の支援

第1節 教育

3 青少年健全育成

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
青少年育成団体数	51 団体	53 団体

■主な現行事業

●青少年指導育成事業

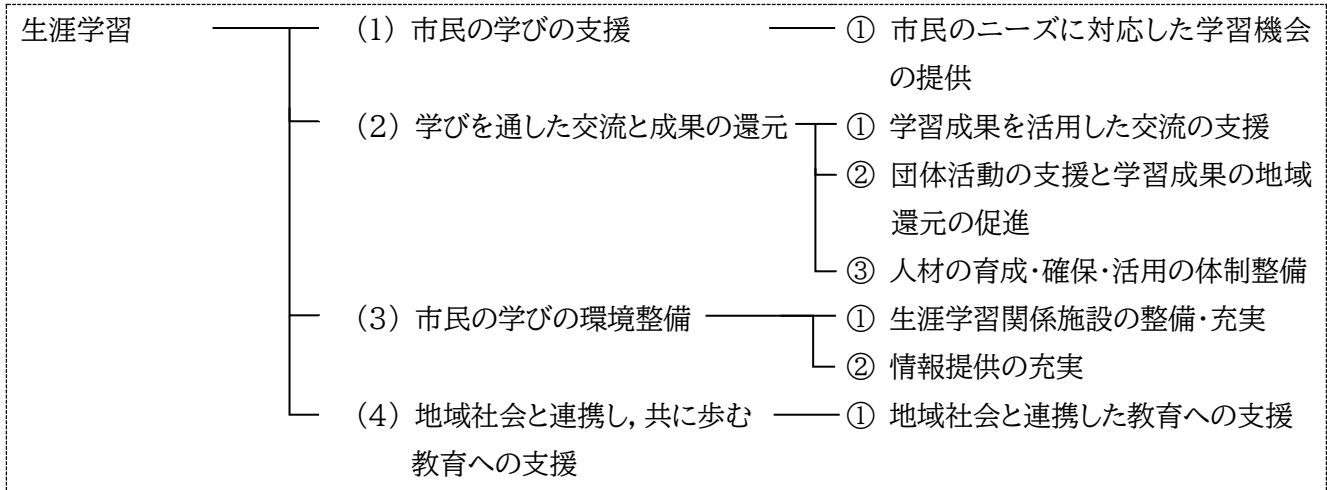
●青少年交流事業

●青少年センター運営事業

第2節 生涯学習

1 生涯学習

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
まちづくりふれあい講座の講座数	65 講座	70 講座
市民一人当たりの年間図書貸出冊数	5.35 冊	6 冊
公民館まつり来場者数	4,862 人	7,400 人
生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施数	17 回	40 回
生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	26.2 %	35.0 %

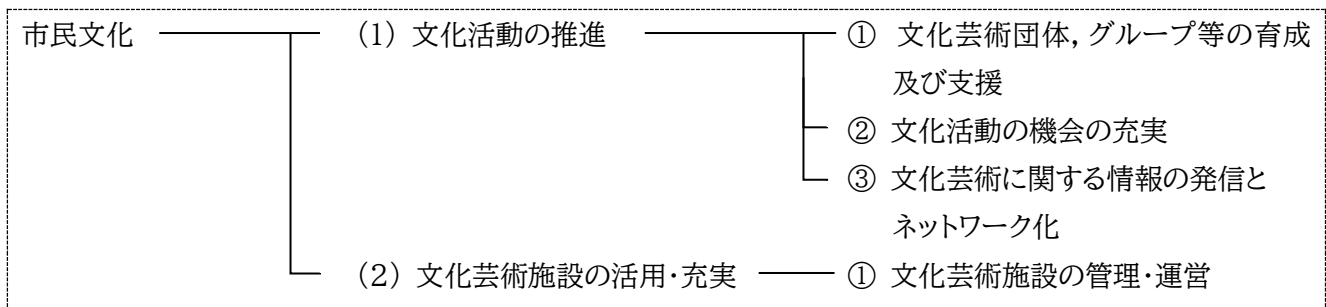
■主な現行事業

- 社会教育振興事業
- 生涯学習振興事業
- 総合生涯学習プラザ運営管理事業
- 公民館運営事業
- 東南公共センター運営事業
- 東南公共センター維持管理事業
- 図書館運営管理事業
- 緑が丘図書館運営管理事業
- 中央図書館運営管理事業
- 勝田台図書館運営管理事業

第3節 文化

1 市民文化

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市民文化祭参加団体数	33 団体	35 団体
市民文化祭参加者・参観者数	43,837 人	55,000 人
文化施設利用人数	368,879 人	467,000 人

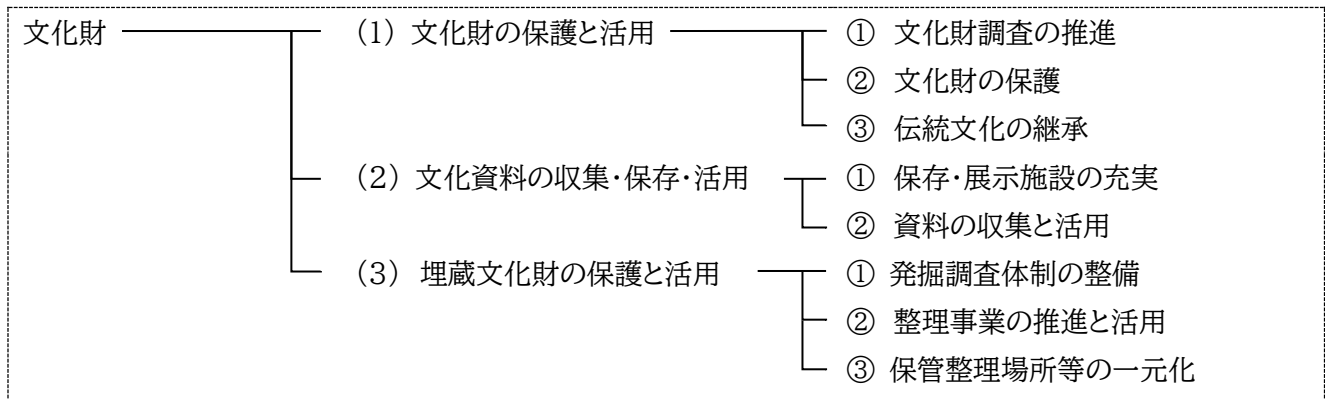
■主な現行事業

- 文化振興事業

第3節 文化

2 文化財

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市指定文化財件数	27 件	31 件
郷土博物館利用者数	21,599 人	25,000 人
文化伝承館利用者数	9,141 人	10,000 人

■主な現行事業

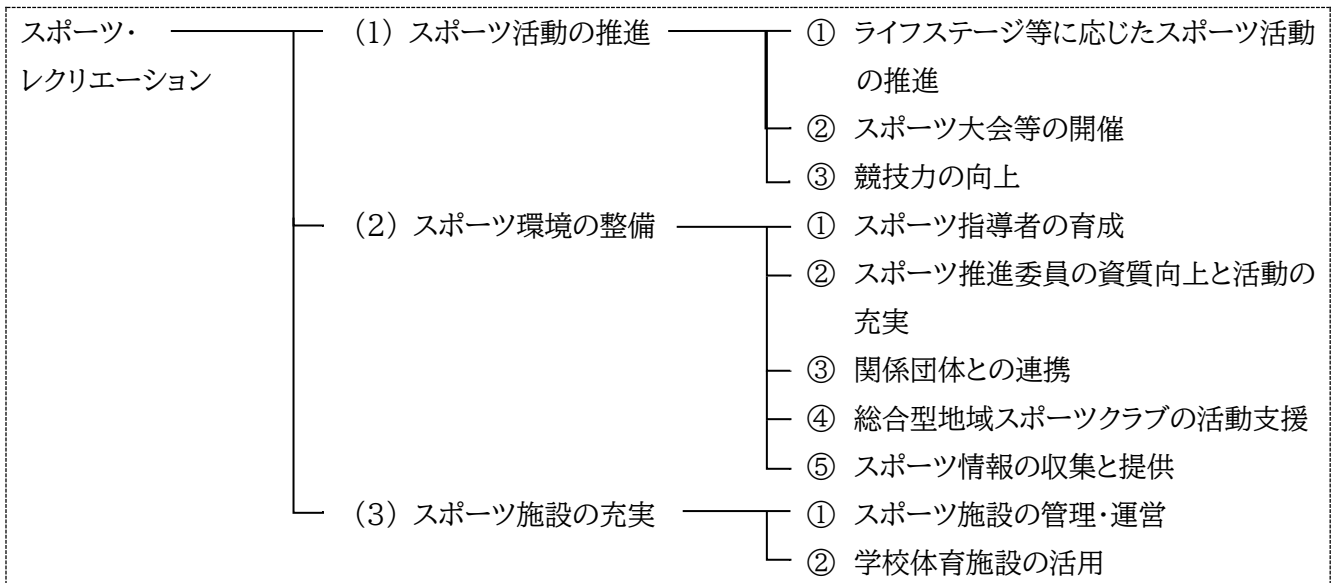
- 文化財保護普及事業
- 文化伝承館運営事業

- 郷土博物館運営事業

第4節 スポーツ

1 スポーツ・レクリエーション

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
週1回以上のスポーツ実施率	36.6 %	50.0 %
スポーツ推進委員依頼講座数	39 回	43 回
体育施設利用者数	591,339 人	703,000 人

■主な現行事業

●スポーツ推進事業

●体育施設管理事業

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第1節 暮らしの安心

第2節 暮らしの安全

第3節 上下水道

第1節 暮らしの安心

1 市民相談

■施策の体系

市民相談 ————— (1) 市民相談を通じた安心な暮らし — ① 市民相談事業の充実

■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
法律相談を受けて満足した人の割合	76 %	80 %

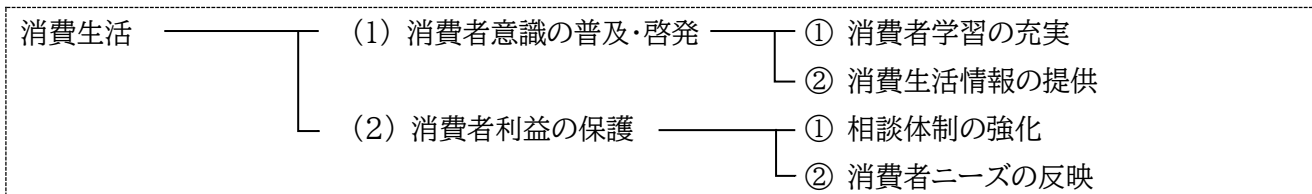
■主な現行事業

●市民相談事業

第1節 暮らしの安心

2 消費生活

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っている市民の割合	44.4 %	50.0 %

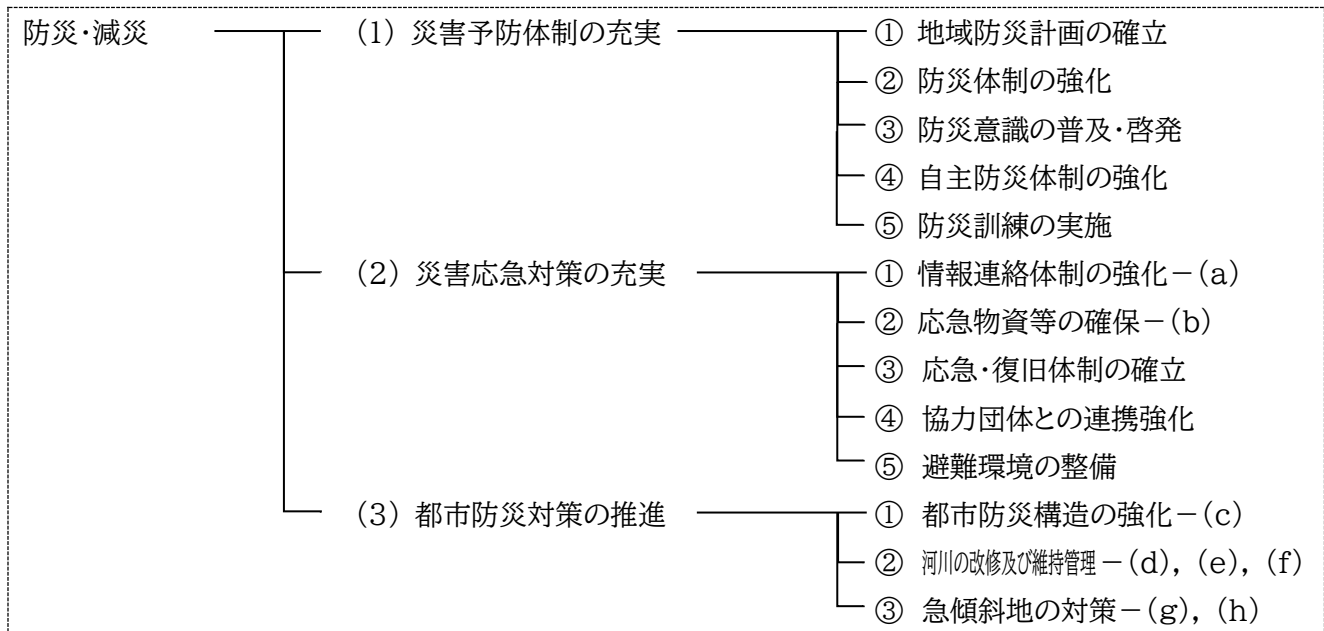
■主な現行事業

- 消費生活センター運営事業

第2節 暮らしの安全

1 防災・減災

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
自主防災組織カバー率	56.4 %	66 %
避難所運営委員会の設立率	48.5 %	100 %
防災行政用無線(固定系)のデジタル化	50.4 %	100 %
急傾斜地崩壊対策整備率	91.4 %	93.9 %

■ 計画事業

事業名	(a)防災行政用無線(固定系)デジタル化再整備事業	担当課	危機管理課		
事業概要	防災行政用無線(固定系)をデジタル化する。	指標(目標)	防災行政用無線(固定系)デジタル化 63局⇒125局		
		年度計画	R3	R4	R5
	整備				

事業名	(b)災害用物資備蓄事業	担当課	危機管理課		
事業概要	発災から3日間における被災者等の生命維持に最低限必要な物資を計画的に備蓄する。	指標(目標)	毎年度食料備蓄数(全体)9,000食		
		年度計画	R3	R4	R5
	整備		整備	整備	

事業名	(c)地域排水整備事業	担当課	土木建設課		
事業概要	集中豪雨等による災害の危険性を少なくするため、地域排水及び道路排水施設等の雨水排水施設の整備・改修を行う。	指標(目標)	冠水問題の解消		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事	工事	

事業名	(d)勝田川改修事業	担当課	土木建設課		
事業概要	勝田川(勝田川に流入する上流排水路含む)の溢水対策として、千葉市、四街道市、八千代市、佐倉市の4市で構成する勝田川改修協議会により河川改修等を実施する。千葉市が事業主体となり、その費用の一部を負担する。	指標(目標)	勝田川(勝田川に流入する上流排水路含む)の溢水対策		
		年度計画	R3	R4	R5
	負担金		負担金	負担金	

事業名	(e)準用河川高野川改修事業	担当課	土木建設課		
事業概要	降雨による災害が頻繁に発生していることから、準用河川高野川の改修を行う。	指標(目標)	高野川の改修		
		年度計画	R3	R4	R5
	詳細設計		用地測量	用地買収	

事業名	(f)準用河川花輪川維持補修事業	担当課	土木建設課		
事業概要	準用河川花輪川は一級河川桑納川に流入する河川である。降雨等による土砂堆積により流下能力が低下しているため、定期的な維持補修を行う。	指標(目標)	花輪川の浚渫(しゅんせつ)工事完了		
		年度計画	R3	R4	R5
	工事		工事	工事	

事業名	(g)急傾斜地崩壊対策事業(市)	担当課	土木建設課		
事業概要	急傾斜地法に基づき区域指定された急傾斜地の崩壊による災害を防止するため崩壊対策施設の整備及び維持補修を実施する。	指標(目標)	急傾斜地崩壊対策施設の整備 334棟⇒337棟		
		年度計画	R3	R4	R5
	工事		工事 測量	工事	

事業名	(h)急傾斜地崩壊対策事業(県)	担当課	土木建設課		
事業概要	急傾斜地法に基づき区域指定された急傾斜地の崩壊による災害を防止するため崩壊対策施設の整備を推進する。千葉県が事業主体となるものについて、その費用の一部を負担する。	指標(目標)	急傾斜地崩壊対策施設の整備 334棟⇒337棟		
		年度計画	R3	R4	R5
			負担金	負担金	

■主な現行事業

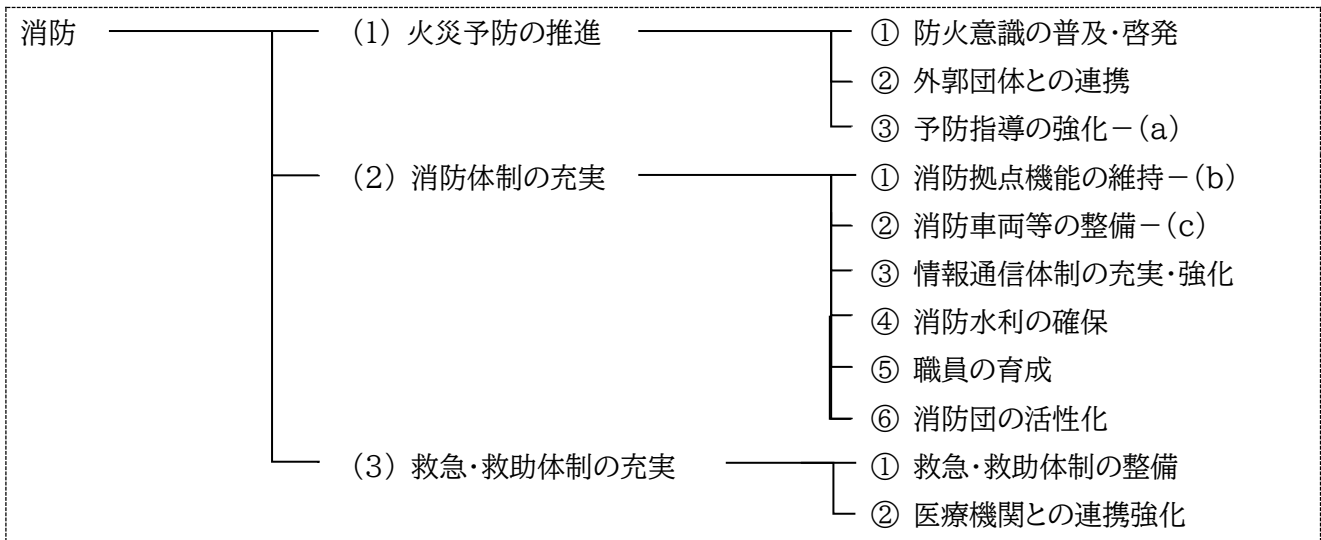
●災害対策施設整備等事業

●防災啓発事業

第2節 暮らしの安全

2 消防

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
消防団安全装備品貸与率	33.3 %	92.0 %
防火水槽数(公設)	449 基	461 基
応急手当普及率(普通救命講習)	9.9 %	10.4 %

■計画事業

事業名	(a) 予防業務事業	担当課	予防課		
事業概要	火災発生危険及びこれに伴う人命危険を予防するために、防火対象物や危険物施設に立入検査を実施する。	指標(目標)	指導の効率化(現地での通知書交付率)50%		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施	実施	実施

事業名	(b)消防庁舎及び消防署等整備事業	担当課	消防総務課		
事業概要	中央消防署八千代台分署の老朽化対策と併せて第4分団詰所との複合化を図るため、耐震補強等工事を行う。	指標(目標)	Is 値 0.55⇒0.75		
		年度計画	R3	R4	R5
工事					

事業名	(c)消防車両等整備事業	担当課	警防課		
事業概要	複雑多様化する災害に対応するため、消防車両等の更新及び増強を行う。	指標(目標)	消防車両等更新数(更新基準による)25台⇒40台		
		年度計画	R3	R4	R5
整備	整備		整備		

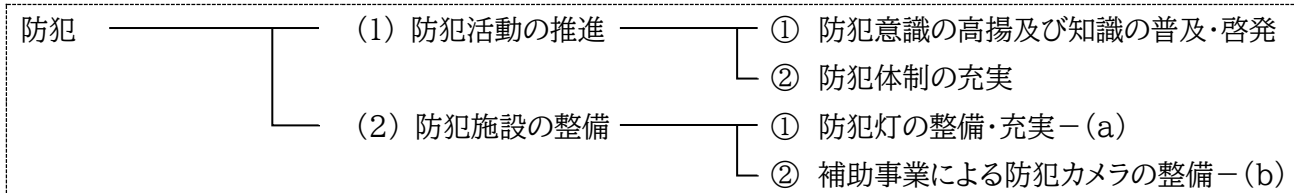
■主な現行事業

- | | |
|------------|------------|
| ●警防活動事業 | ●消防団施設管理事業 |
| ●警防救助管理事業 | ●水利整備事業 |
| ●消防団運営管理事業 | ●救急管理事業 |
| ●救急活動事業 | |

第2節 暮らしの安全

3 防犯

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
補助金を交付して設置した防犯カメラの台数	0 台	40 台

■計画事業

事業名	(a)防犯灯設置事業	担当課	危機管理課		
事業概要	夜間の犯罪防止及び不特定多数の人が通行する生活道路の安全を確保するために、防犯灯の整備を行う。	指標(目標)	防犯灯新設灯数 280 台		
		年度計画	R3	R4	R5
			設置	設置	設置

事業名	(b)防犯カメラ設置費補助事業	担当課	危機管理課		
事業概要	地域内の犯罪の防止等を図るため、自治会等が行う防犯カメラの設置に要する経費に補助金を交付する。	指標(目標)	補助金を交付して設置した防犯カメラの台数 40 台		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

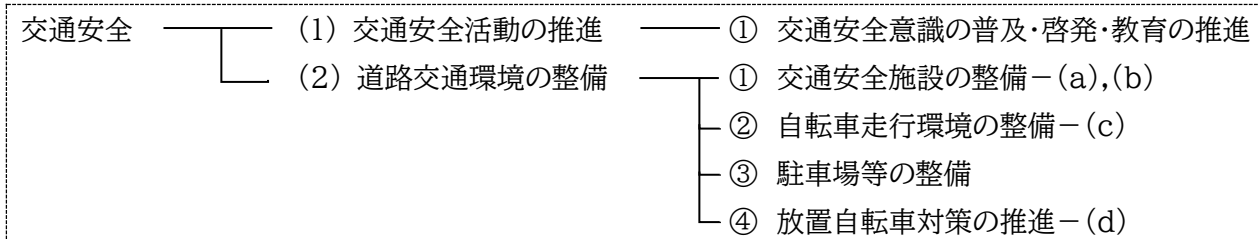
■主な現行事業

- 防犯対策事業

第2節 暮らしの安全

4 交通安全

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
放置自転車の撤去台数	1,308 台	1,000 台以内

■計画事業

事業名	(a)交通安全施設整備事業	担当課	土木維持課		
事業概要	バリアフリー等を考慮し、各施設への安全で快適なアクセスを充実するため、歩行支援施設の整備を行う。	指標(目標)	道路照明灯, 防護柵, 区画線, 反射鏡, 道路標識等の交通安全施設の整備		
		年度計画	R3 工事	R4 工事	R5 工事

事業名	(b)通学路整備事業	担当課	土木維持課		
事業概要	児童・生徒の通学時の安全確保のため、通学路安全プログラムに位置づけされた、通学路の整備を実施する。	指標(目標)	村上228号線の歩道整備		
		年度計画	R3 工事	R4 設計	R5 工事

事業名	(c)自転車ネットワーク整備事業	担当課	土木維持課		
事業概要	自転車および歩行者の安全通行のため、駅や公共施設等を拠点とした主要路線について自転車通行帯を整備する。	指標(目標)	自転車通行帯 4路線整備		
		年度計画	R3	R4	R5
工事設計	工事設計		工事設計		

事業名	(d)放置自転車等対策事業	担当課	土木維持課		
事業概要	老朽化した自転車駐輪場施設の改修等を図る。	指標(目標)	勝田台南第1自転車駐車場改修工事完了		
		年度計画	R3	R4	R5
検討	工事		工事		

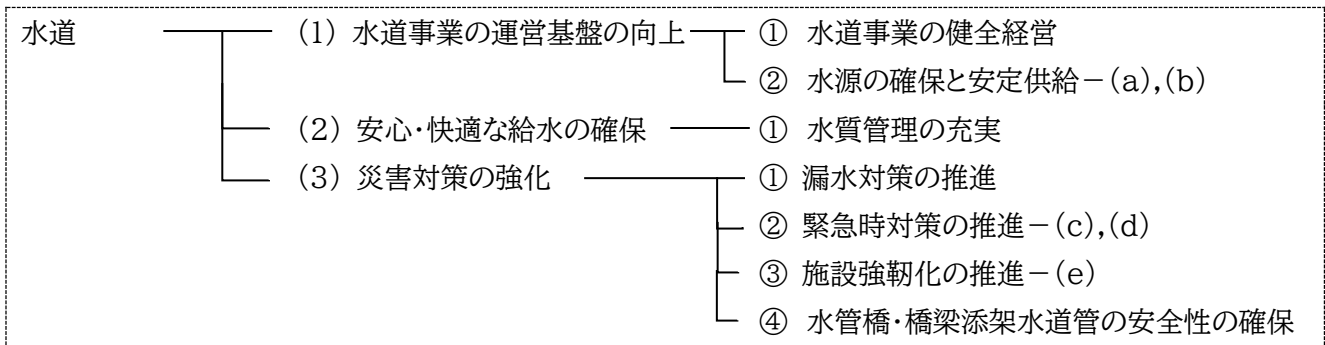
■主な現行事業

- 交通安全教育啓発事業

第3節 上下水道

1 水道

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市内全域の水道管路における耐震化率	59.3 %	64.5 %

■計画事業

事業名	(a)村上給水場施設改良事業	担当課	上水道課		
事業概要	安定給水を確保するため、平成17年度に実施した施設耐震診断を受け、配水池を築造するとともに、低層・高層配水ポンプや自家発電設備の更新及び受変電設備等の改良工事を行う。	指標(目標)	改良工事の完成		
		年度計画	R3	R4	R5
	工事				

事業名	(b)八千代台浄水場施設改良事業	担当課	上水道課		
事業概要	八千代市水道施設再構築基本計画に基づき、耐震性能が不足している施設の解体を行うとともに、管路及び電気設備等の改良工事を行う。	指標(目標)	改良工事の完成		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事	工事	

事業名	(c)災害時応急給水用機材整備事業	担当課	上水道課		
事業概要	地震等の災害時や断水時に速やかに応急給水が出来る様,給水用資材を整備する。	指標(目標)	整備数 31基⇒40基		
		年度計画	R3	R4	R5
				整備	整備

事業名	(d)管路改良事業	担当課	上水道課		
事業概要	浄水場間を結ぶ送水管分岐部に不断水工法により仕切弁を設置する。 また,八千代市庁舎整備に伴い 100 m ³ の耐震性の緊急用貯水槽を整備する。	指標(目標)	水道水の安定供給(仕切弁設置) 2基⇒6基		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施設計	工事 実施設計	工事 実施設計

事業名	(e)管路耐震化事業	担当課	上水道課		
事業概要	非耐震管等の老朽管を地震・災害に強いダクタイル鋳鉄管へ布設替えを行う。	指標(目標)	耐震化率 59.3%⇒64.5%		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事 実施設計	工事 実施設計	工事 実施設計

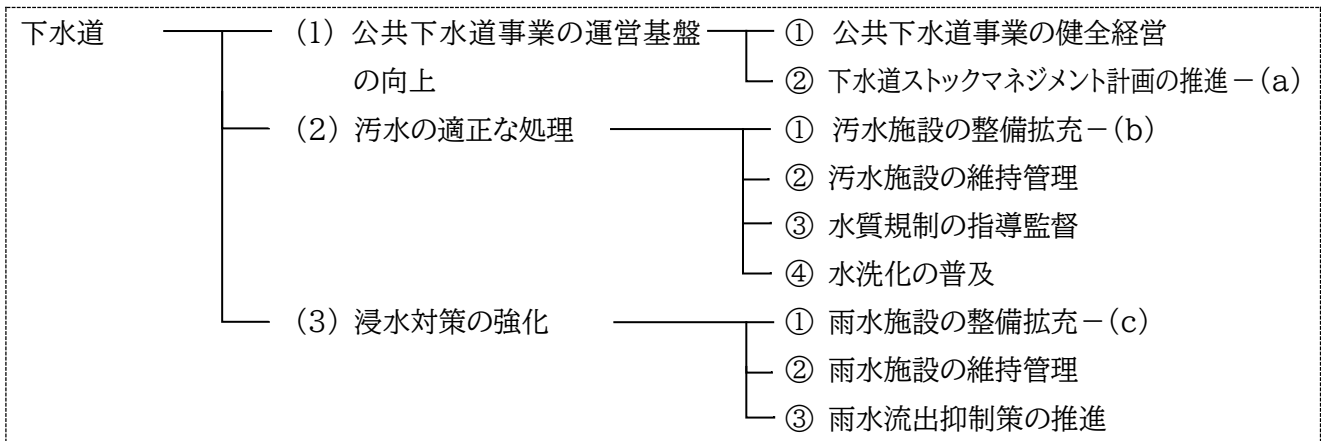
■主な現行事業

- | | |
|--------------|---------|
| ●水質管理事業 | ●漏水調査事業 |
| ●専用水道等衛生対策事業 | |

第3節 上下水道

2 下水道

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
水洗化率	99.2 %	99.6 %
雨水整備率	43.3 %	43.5 %

■計画事業

事業名	(a)下水道施設改良事業	担当課	下水道課		
事業概要	下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築更新を実施していく。	指標(目標)	下水道ストックマネジメント計画において、令和6年度までに予定している汚水管渠(幹線及び重要路線)の点検・調査実施率100%		
		年度計画	R3 工事 委託	R4 工事 委託	R5 工事 委託

事業名	(b)汚水管渠整備事業	担当課	下水道課		
事業概要	市街化区域において、下水道が未整備となっている一部の住宅地の整備等を行う。また、工業団地の整備について検討する。	指標(目標)	下水道整備人口普及率 92.4%⇒92.5%		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事 委託 検討	工事 委託 検討	工事 委託

事業名	(c)雨水管渠整備事業	担当課	下水道課		
事業概要	都市化の進展に伴う雨水流出量の増大などによる浸水被害から市民の命や財産を守るため、事業計画区域内の雨水管渠を整備する。	指標(目標)	雨水整備率 43.3%⇒43.5%		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事 委託 補償	工事 委託 補償	工事 委託 補償

■主な現行事業

- | | |
|-----------|-----------|
| ●水洗化促進事業 | ●ポンプ場維持事業 |
| ●汚水管渠維持事業 | ●水質規制事業 |
| ●雨水管渠維持事業 | |

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

第2節 総合交通・道路環境の整備

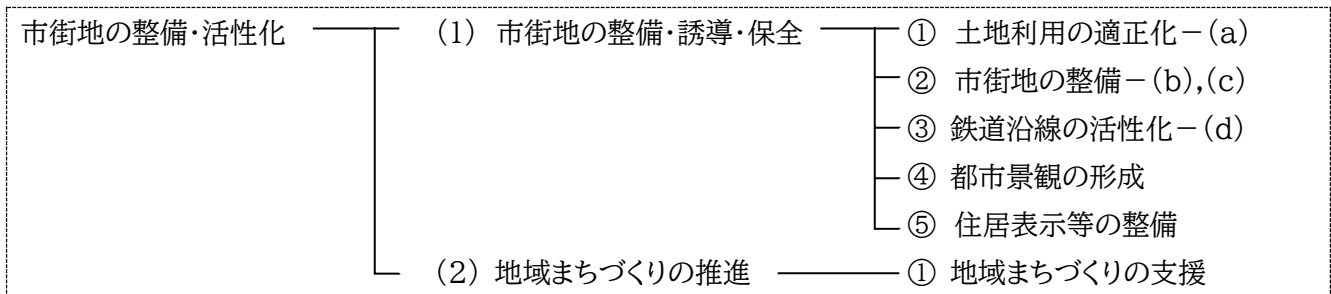
第3節 環境との共生・保全

第4節 循環型社会

第1節 市街地・住環境の整備

1 市街地の整備・活性化

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じている市民の割合	24.6 %	26.6 %
(仮称)地域まちづくり活動団体の登録件数	0 件	4 件

■計画事業

事業名	(a)都市マスタープラン策定事業	担当課	都市計画課		
事業概要	現行の八千代市都市マスタープランが、令和4年度で目標年度を迎えることから、令和5年度からの次期計画を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3 調査 検討	R4 計画策定	R5

事業名	(b)大和田駅北側地区まちづくり事業	担当課	都市計画課 まちづくり推進室		
事業概要	昭和44年に都市計画決定された後、長期間にわたって事業未着手の大和田駅北側地区土地区画整理事業について、実現可能な整備手法を検討し、住環境及び狭あい道路の改善、地域の防災機能等の向上を図る。	指標(目標)	地区計画等制度活用面積 13.2ha		
		年度計画	R3 調査 検討	R4 整備方針 策定	R5 計画検討

事業名	(c)西八千代南部地区まちづくり事業	担当課	都市計画課 まちづくり推進室		
事業概要	市街化区域編入に向けた地区計画等を検討し,良好な市街地の形成を図る。	指標(目標)	地区計画等制度活用面積 27.3ha		
		年度計画	R3	R4	R5
	調査 検討		地区計画 方針検討	地区計画 (案)作成	

事業名	(d)八千代台駅周辺活性化推進事業	担当課	都市計画課 まちづくり推進室		
事業概要	八千代台駅周辺の活性化を図るため,地域まちづくり活動団体への支援のほか,地域住民や事業者等との協議を進め,駅前広場や周辺道路等の整備計画を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3	R4	R5
	実施 調査 検討		実施 調査 検討	実施 調査 検討	

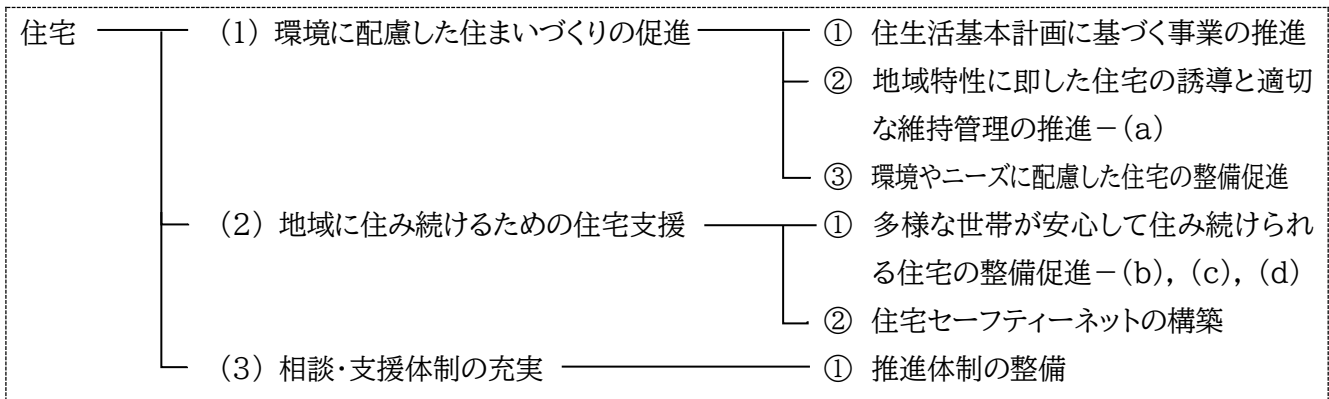
■主な現行事業

- 市街地整備推進事業

第1節 市街地・住環境の整備

2 住宅

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
新築戸建住宅に対する長期優良住宅認件数の割合	39.2 %	増加
住宅の耐震化率	94.5 % (平成30年度)	おおむね解消
管理不全の空家等の割合	55 %	減少
市営住宅管理戸数	114 戸	127 戸

■計画事業

事業名	(a)危険コンクリートブロック塀等撤去費補助事業	担当課	建築指導課		
事業概要	倒壊により通行人等への危害及び避難, 救援活動に支障を及ぼすおそれのある道路沿いに設置された民間ブロック塀等の撤去費用に対して, 助成する。	指標(目標)	申請件数 25 件		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

事業名	(b)マンション耐震診断費補助事業	担当課	建築指導課		
事業概要	昭和 56 年以前の耐震基準(旧耐震基準)により建築されたマンション(分譲に限る。)について、耐震診断に要する費用の一部を補助する。また、周知啓発を図るため、戸別訪問を行う。	指標(目標)	戸別訪問等の実施 1,500 棟/年		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

事業名	(c)木造住宅耐震診断費等補助事業	担当課	建築指導課		
事業概要	耐震改修工事に対する補助金の拡充を図るとともに、引き続き耐震診断費補助及び耐震改修とあわせて行うリフォーム工事費を補助する。また、周知啓発を図るため、戸別訪問を行う。	指標(目標)	戸別訪問等の実施 1,500 棟/年		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

事業名	(d)空家等対策推進事業	担当課	建築指導課		
事業概要	今後、増加が見込まれる空家等に対して、発生予防・抑制、適切な維持管理、利活用の促進を図る。 また、保安上危険等の特定空家については除却含め対策を講じていく。	指標(目標)	管理不全の空家数の割合 55%⇒減少		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施計画 策定 検討	助成 工事	助成 工事

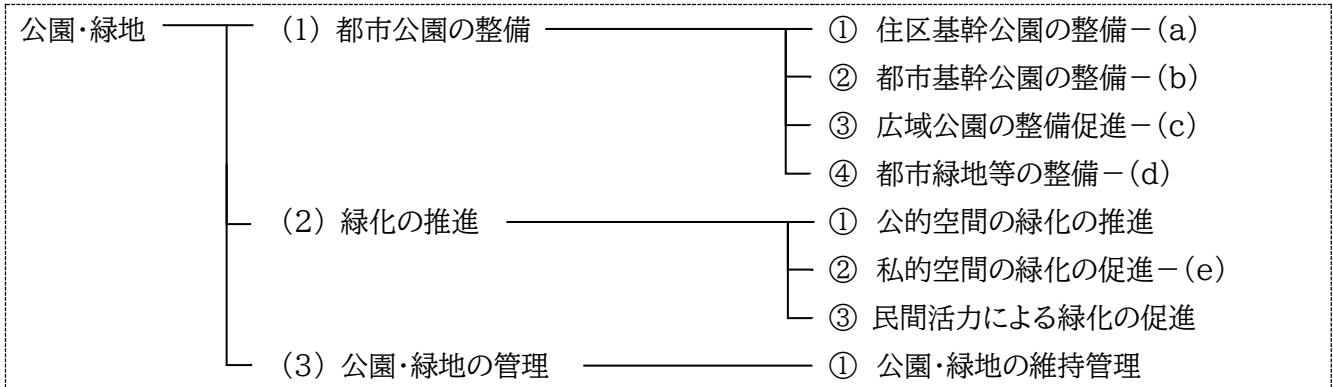
■主な現行事業

- 市営住宅維持管理事業

第1節 市街地・住環境の整備

3 公園・緑地

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
都市公園の面積	951,100 m ²	1,020,000 m ²
緑豊かなまちと感じている市民の割合	79.2 %	83.0 %
環境美化ボランティア制度実施公園数	66 か所	70 か所

■計画事業

事業名	(a)西八千代地区近隣公園建設事業	担当課	公園緑地課		
事業概要	西八千代地区内に近隣公園を整備する。	指標(目標)	近隣公園整備 2 か所		
		年度計画	R3	R4	R5
			西部近隣公園工事	南部近隣公園実施設計	南部近隣公園工事

事業名	(b)八千代総合運動公園法面崩壊対策事業	担当課	公園緑地課		
事業概要	八千代総合運動公園内における法面崩壊対策を実施する。	指標(目標)	法面崩壊対策工事の完了		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施設計	工事	

事業名	(c)県立八千代広域公園整備の促進	担当課	公園緑地課		
事業概要	新川両岸の地域に自然環境の保全, 多様なレクリエーションニーズへの対応, 災害時の避難場所の確保等, 安全で快適な環境づくりに資するため, 千葉県が進める広域公園整備事業を促進する。	指標(目標)	県立八千代広域公園の整備率 50%⇒100%		
		年度計画	R3	R4	R5
			促進	促進	促進

事業名	(d)勝田市民の森用地取得事業	担当課	公園緑地課		
事業概要	市街化区域内に残された貴重な緑地保全のため, 都市計画決定をしている勝田市民の森の用地を取得する。	指標(目標)	勝田市民の森用地取得面積 約0.2ha⇒約0.9ha		
		年度計画	R3	R4	R5
			用地取得	用地取得	用地取得

事業名	(e)バラ苗配布事業	担当課	公園緑地課		
事業概要	平成9年に市制30周年を記念して市の花として「バラ」が指定されたことから, バラを啓発するため, 小学校新入生に入学記念として市の花である「バラ」の苗を配布し, 家族で育ててもらう。	指標(目標)	「市の花」バラの認知度 85%⇒100%		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施	実施	実施

■主な現行事業

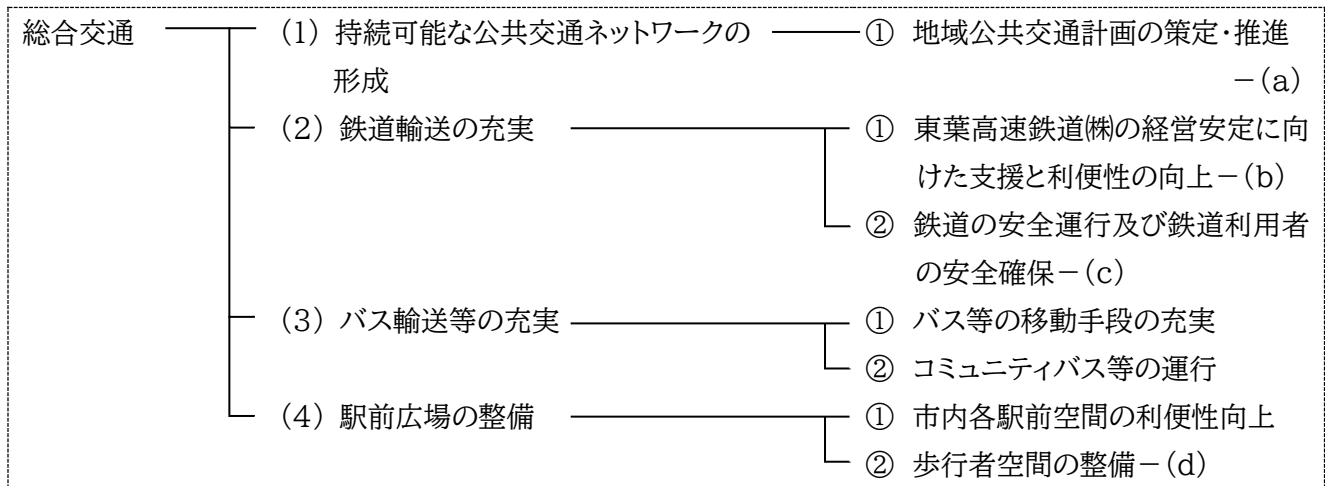
●都市公園管理事業

●緑地保全事業

第2節 総合交通・道路環境の整備

1 総合交通

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	65.6 %	70.0 %
市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合	42.5 %	60.0 %
市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合	53.5 %	60.0 %
交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合	26.7 %	40.0 %

■計画事業

事業名	(a)(仮称)八千代市地域公共交通計画策定事業	担当課	都市計画課		
事業概要	地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たす地域公共交通計画を策定する。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3 調査 検討	R4 調査 検討	R5 計画策定

事業名	(b)東葉高速鉄道支援事業	担当課	企画経営課		
事業概要	東葉高速鉄道(株)の経営支援の一環として、同鉄道の支援に関する申し合わせに基づき、国及び自治体(千葉県・船橋市・八千代市)による利子補給を行う。	指標(目標)	利子補給対象債務残高 20,295百万円⇒12,749百万円		
		年度計画	R3	R4	R5
			利子補給	利子補給	利子補給

事業名	(c)鉄道施設安全対策補助事業	担当課	企画経営課		
事業概要	今後発生が予想される大規模自然災害による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止のため、鉄道事業者が行う安全対策事業に対し、国・千葉県と協調して補助を行う。	指標(目標)	市内の高架橋柱の耐震化率 77%⇒95%		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	

事業名	(d)勝田台駅南口エレベーター設置事業	担当課	都市計画課		
事業概要	高齢者、障害者等の鉄道を利用した移動等の円滑化の促進を図るため、鉄道事業者が行うエレベーター整備事業(勝田台駅南口エレベーターの設置)に対する助成を行う。	指標(目標)	鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合 65.6%⇒ 70.0%		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	

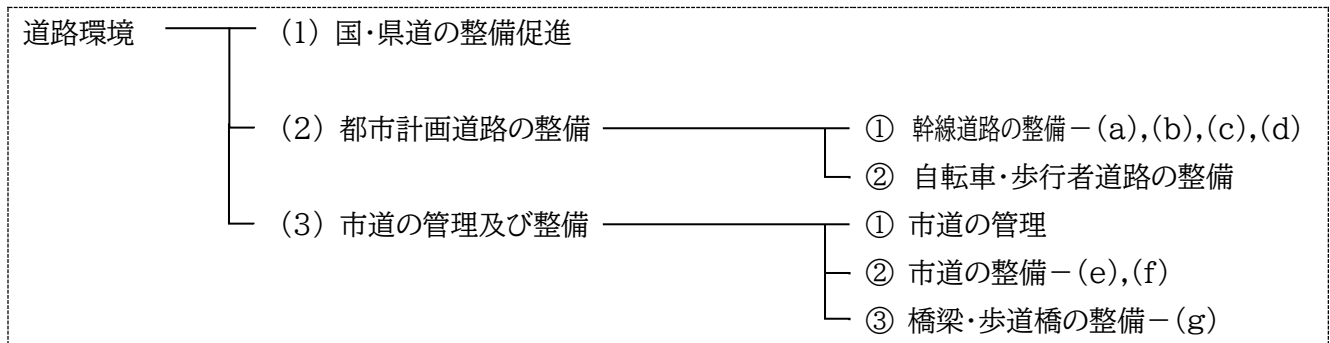
■主な現行事業

- コミュニティバス運行事業

第2節 総合交通・道路環境の整備

2 道路環境

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
道路環境が整っていると感じる市民の割合	38.9 %	60.0 %
都市計画道路の整備済延長	45,562 m	46,757 m
市道の改良整備率	73.0 %	73.4 %
官民境界の確定進捗率	9.1 %	9.6 %

■計画事業

事業名	(a)都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(西八千代工区)	担当課	土木建設課		
事業概要	<<市事業>> 西八千代工区 延長:437m 幅員:20m	指標(目標)	都市計画道路の整備		
		年度計画	R3	R4	R5
			設計 工事		

事業名	(b)都市計画道路 3・4・1 号新木戸上高野原線整備事業(上高野工区)	担当課	土木建設課		
事業概要	≪市事業≫ (第1工区) 延長:635m+135m(3・4・9号線) 幅員:20m, 17m (第2工区) 延長:480m 幅員:18~20m	指標(目標)	都市計画道路の整備		
		年度計画	R3	R4	R5
用地取得	用地取得		用地取得設計		

事業名	(c)都市計画道路 3・4・12 号八千代台南勝田台線整備事業	担当課	土木建設課		
事業概要	≪市事業≫ (第1工区) 延長:525m 幅員:16~21m (第2工区(予定)) 延長:345m 幅員:16m	指標(目標)	都市計画道路の整備		
		年度計画	R3	R4	R5
用地取得	用地取得設計工事		用地取得工事		

事業名	(d)都市計画道路 3・4・6 号八千代台花輪線整備事業(県事業)	担当課	土木建設課		
事業概要	≪県事業≫ 延長 530m 幅員:16m	指標(目標)	都市計画道路の整備		
		年度計画	R3	R4	R5
負担金	負担金				

事業名	(e)道路改良事業	担当課	土木建設課		
事業概要	市が管理する道路について交通空間を確保し, 市民生活における快適で安全な生活が送れるまちづくりを推進するため, 利便性及び安全性の向上を図るため市道の整備を実施する。	指標(目標)	市道の改良整備率 73.0%⇒73.4%		
		年度計画	R3	R4	R5
工事委託	工事委託		工事委託		

事業名	(f)道路補修事業	担当課	土木維持課		
事業概要	人にやさしい安全で安心して利用できる市道の道路機能を確保するため維持補修を実施する。	指標(目標)	市道 14kmの舗装補修工事の実施		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事委託	工事委託	工事委託

事業名	(g)橋梁補修事業	担当課	土木維持課		
事業概要	橋梁・横断歩道橋の長寿命化及び耐震化を推進するにあたり、維持管理コストの縮減を図りつつ、効率的な整備・維持修繕等を実施する。	指標(目標)	橋梁 3 橋, 横断歩道橋 2 橋の補修・耐震化工事の実施		
		年度計画	R3	R4	R5
			工事委託	工事委託	工事委託

■主な現行事業

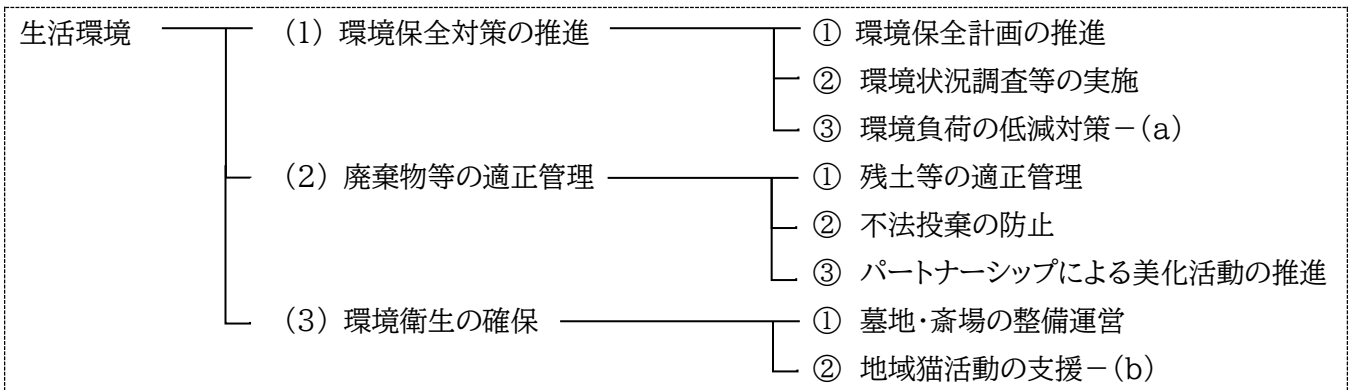
●地籍調査事業

●国・県道の整備要請

第3節 環境との共生・保全

1 生活環境

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
環境基準達成度	87.5 %	89.3 %
生活排水処理率	97.1 %	98.7 %
まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合	70.8 %	75.0 %
合葬式墓地の供給数	1,714 体分	2,465 体分

■計画事業

事業名	(a)高度処理型浄化槽設置整備事業	担当課	環境保全課		
事業概要	高度処理型合併処理浄化槽を転換により設置する者に対し、助成する。	指標(目標)	生活排水処理率 97.1%⇒98.7%		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

事業名	(b)地域猫不妊去勢等手術費用助成事業	担当課	環境保全課 環境政策室		
事業概要	市民の生活環境の保全を図るため、市に登録のある地域猫活動を行っている団体に対して不妊去勢手術費用の助成を行う。	指標(目標)	地域猫の不妊去勢手術実施率 75.98%⇒80%		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

■主な現行事業

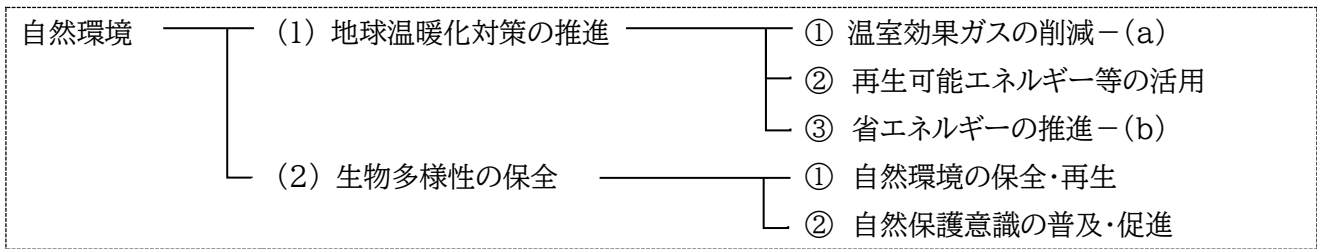
●水環境対策事業

●市営霊園運営管理事業

第3節 環境との共生・保全

2 自然環境

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市の事務事業による温室効果ガス排出量	51,746t-CO ₂ /年	49,159t-CO ₂ /年
環境学習講座等参加者数	2,126人/年	2,200人/年

■計画事業

事業名	(a)脱炭素社会推進事業	担当課	環境保全課 環境政策室		
事業概要	脱炭素社会の実現に向け、環境問題に係る全市的な方針及び対策に関する事項を検討する場である「八千代市環境問題連絡会」において協議し、取組を推進する。	指標(目標)	市域全体の温室効果ガス排出量 1,789,000t-CO ₂ /年(平成29年度)⇒1,577,000t-CO ₂ /年		
		年度計画	R3	R4	R5
			方針決定	推進	推進

事業名	(b)住宅用省エネルギー設備等設置費補助事業	担当課	環境保全課 環境政策室		
事業概要	住宅用省エネルギー設備を設置する者に対し、助成する。	指標(目標)	年間温室効果ガス削減量 2,214t-CO ₂ /年 ⇒2,850t-CO ₂ /年		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

■ 主な現行事業

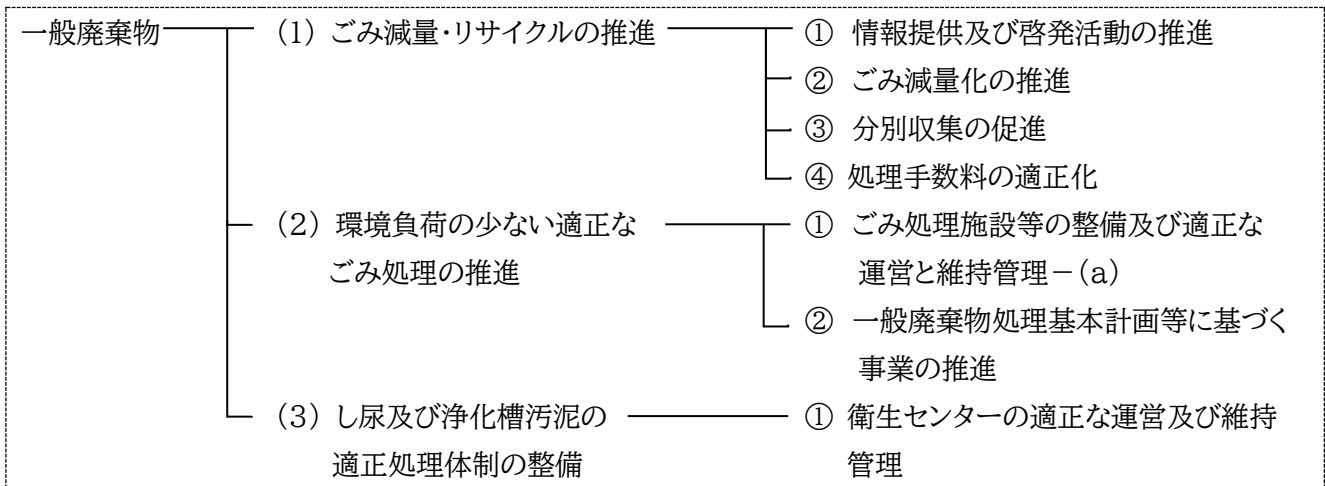
● 地球環境保全事業

● 生物多様性環境保全事業

第4節 循環型社会

1 一般廃棄物

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市民1人1日当たりのごみの総排出量 ()内は資源物を除いた排出量	768g (661g)	707g (599g)
リサイクル率	20.2 %	21.5 %
一般廃棄物処理量	54,658 t	51,782 t
し尿及び浄化槽汚泥の処理量	11,196 kl/年	10,752 kl/年

■計画事業

事業名	(a)浸出水処理施設基幹的設備改良事業	担当課	清掃センター		
事業概要	最終処分場からの浸出水を適正に処理して河川放流するための浸出水処理施設の改良工事を行う。	指標(目標)	浸出水処理施設の改良工事		
		年度計画	R3	R4	R5
			計画策定	設計	

■ 主な現行事業

- リサイクル推進事業
- 廃棄物処理企画調整事業
- 衛生センター施設管理事業
- 粗大ごみ処理施設管理事業
- 焼却炉施設管理事業
- 埋立処分地施設管理事業

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

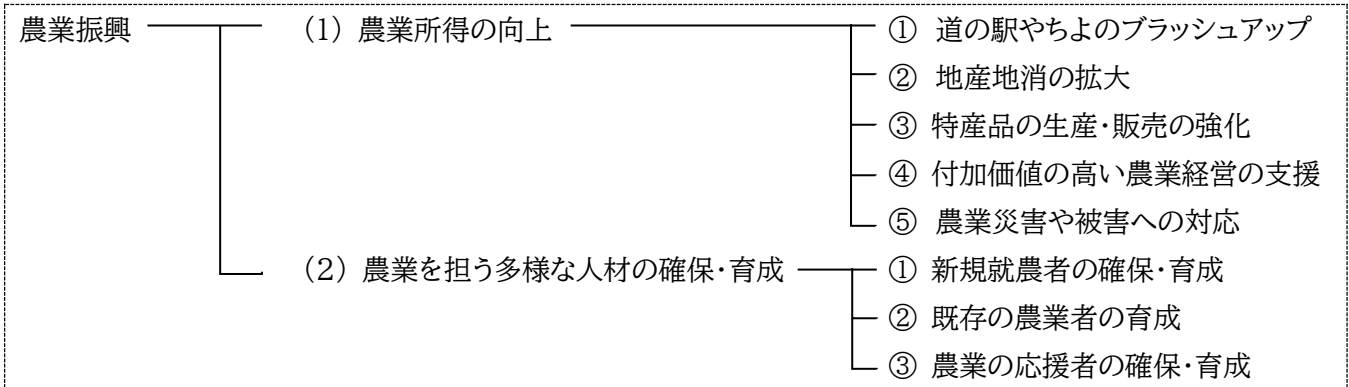
第2節 商工業

第3節 労働環境

第1節 農業

1 農業振興

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
体験農園利用者数	28,450 人	29,000 人
有害鳥獣捕獲駆除数	66 頭	150 頭
認定農業者数(経営体数)	93 件	108 件
家族経営協定の締結件数	31 件	37 件

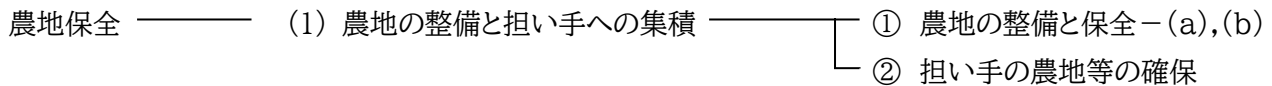
■主な現行事業

- 農業の郷運営管理事業
- 園芸振興事業
- 畜産振興事業
- 農業振興事業

第1節 農業

2 農地保全

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
水田の再基盤整備面積	306.5 ha	342.1 ha
担い手への農地集積面積	278.4 ha	335.6 ha

■計画事業

事業名	(a) 農業振興地域整備計画策定事業	担当課	農政課		
事業概要	農用地区域管理台帳を作成し、農用地区域の状況を正確に把握し、農業振興地域整備計画の策定を行う。	指標(目標)	計画の策定		
		年度計画	R3	R4	R5
				調査 検討	調査 検討

事業名	(b) 水田再基盤整備事業	担当課	農政課		
事業概要	将来にわたって保全すべき農地を水田再基盤整備事業として整備する。	指標(目標)	水田の再基盤整備面積 307ha⇒342ha		
		年度計画	R3	R4	R5
			負担金	負担金	負担金

■主な現行事業

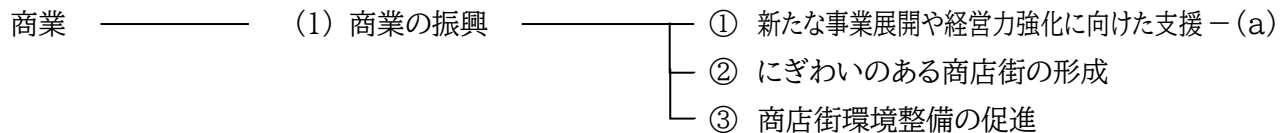
●水田対策事業

●農業農村振興事業

第2節 商工業

1 商業

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
商店街の空き店舗率	11.1 %	7.4 %
小売業の年間商品販売額	165,995 百万円	現状維持

■計画事業

事業名	(a)創業支援事業	担当課	商工観光課		
事業概要	八千代市創業支援等事業計画に基づき、八千代商工会議所等と連携して創業を支援する。	指標(目標)	市内年間創業者数 23人⇒27人		
		年度計画	R3	R4	R5
			助成	助成	助成

■主な現行事業

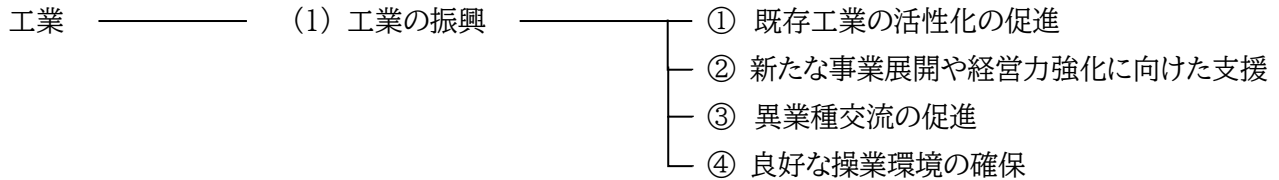
●商工振興事業

●中小企業資金融資事業

第2節 商工業

2 工業

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
1事業所当たりの年間出荷額	1,907 百万円	1,926 百万円

■主な現行事業

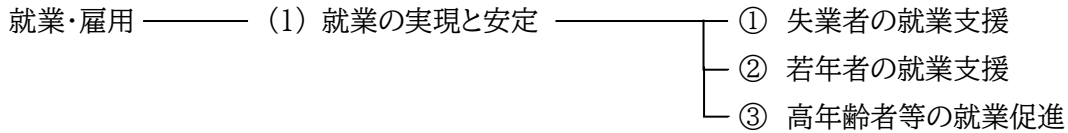
●商工振興事業

●中小企業資金融資事業

第3節 労働環境

1 就業・雇用

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
「八千代地域職業相談室」に求職相談した人の就職率	17.1 %	19.6 %

■主な現行事業

- 雇用対策事業

第4部 計画の推進のために

第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進

第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進

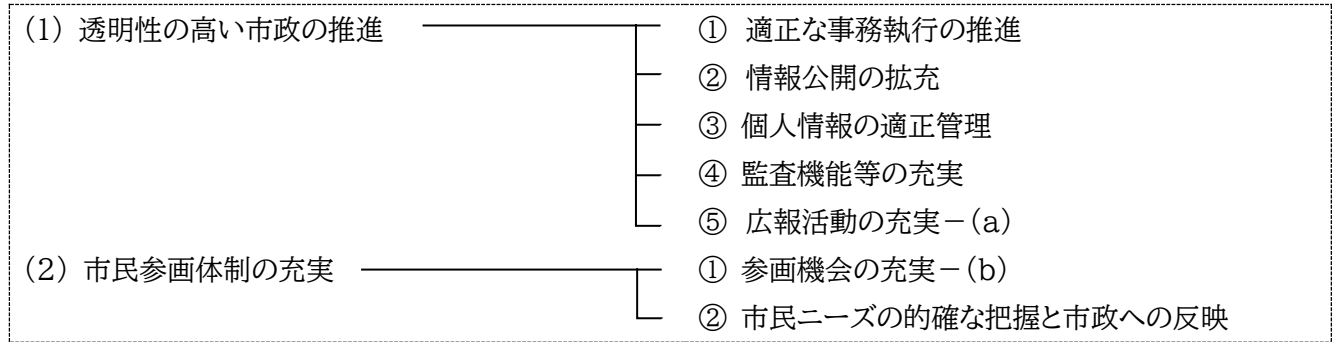
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

第4章 持続可能な行政経営の確立

第1章

市民にわかりやすいまちづくりの推進

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	37.1 %	50.0 %
各種審議会等における公募による市民委員の割合	23.1 %	25.0 %
市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合	23.4 %	30.0 %

■計画事業

事業名	(a)市ホームページ改修事業	担当課	広報広聴課		
事業概要	情報の探しやすさの向上, 掲載内容の充実, スマートフォンでの閲覧対応など, 市ホームページの充実を図る。 また, 令和5年度からリニューアルした市ホームページの運用を開始する。	指標(目標)	市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合 37.1%⇒50.0%		
		年度計画	R3 スマートフォン 対応改修	R4 調査 検討	R5 運用開始

事業名	(b)新たな市民参画制度創設事業	担当課	コミュニティ推進課		
事業概要	市民参画において,参加者数や参加者層の偏りや固定化といった課題があることから,より多くの市民の参加が得られ,より効果的に市民の意見を取り入れることができるよう,新たな仕組みを創設する。	指標(目標)	制度の創設		
		年度計画	R3	R4	R5
	調査 検討		創設		

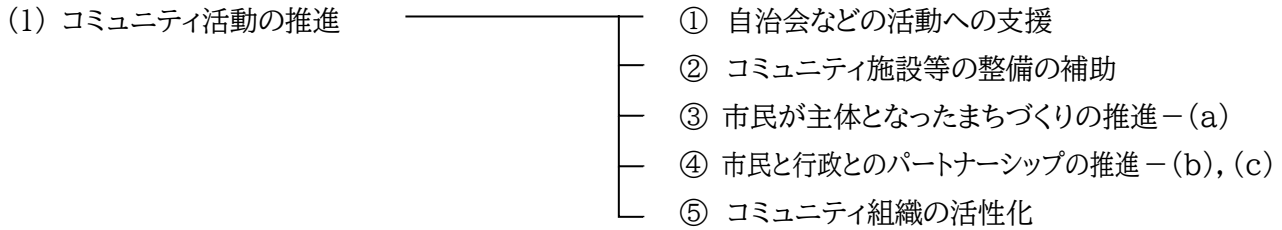
■主な現行事業

- | | |
|-----------|-------------|
| ●情報公開事業 | ●行政管理事業 |
| ●個人情報保護事業 | ●コミュニティ推進事業 |
| ●監査事務事業 | ●広報発行事業 |
| ●映像事業 | |

第2章

地域の視点に立ったまちづくりの推進

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
自治会加入世帯数	50,005 世帯	51,000 世帯

■計画事業

事業名	(a)地域コミュニティ推進講座開催事業	担当課	コミュニティ推進課		
事業概要	地域コミュニティ推進講座を開催し、講座を通じて地域住民と課題等を共有する中、将来のまちづくりのリーダーとなりうる人材発掘に繋げる。	指標(目標)	地域コミュニティ推進講座開催数 年1回		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施	実施	実施

事業名	(b)地域担当職員制度事業	担当課	コミュニティ推進課		
事業概要	職員が地域へ積極的に向き、地域住民と一緒に、生活に身近な課題の解決や各地域の活性化等について話し合い、共に行動する仕組みを創設する。	指標(目標)	地域担当職員制度の導入		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査 検討	創設	

事業名	(c)旧八千代台東第二小学校跡地整備事業	担当課	企画経営課		
事業概要	多様な世代・多様な利用者が満足できる空間という考え方のもと、旧八千代台東第二小学校跡地を整備する。 また、地域の地縁組織及びまちづくり会社を中心に運営管理の協議・検討を進める。	指標(目標)	市からの補助金無しでの施設運営管理		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査 検討	供用開始	

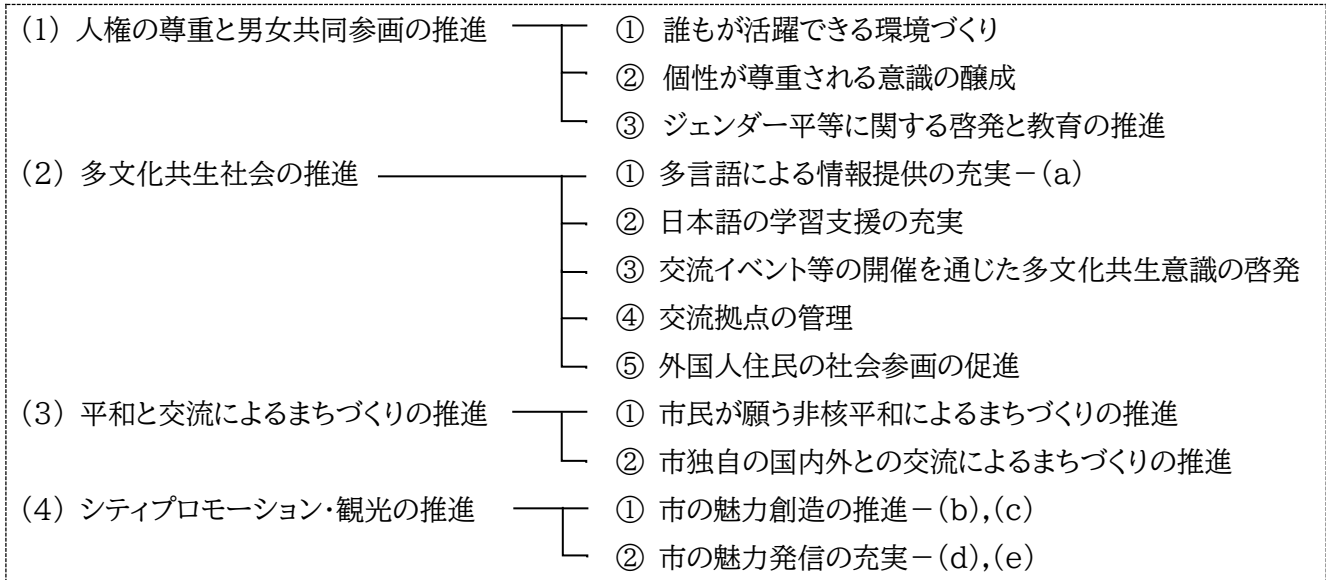
■主な現行事業

- | | |
|-----------|---------------------|
| ●地域集会施設事業 | ●市民組織助成事業 |
| ●市民活動支援事業 | ●市民活動サポートセンター運営管理事業 |

第3章

多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値 (令和6年度末)
各種審議会等における女性委員の割合	31.5 %	40.0 %
性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合	30.4 %	40.0 %
日本語教室の受講者数	2,356 人	3,000 人
国際交流イベントの参加者数	1,771 人	2,000 人
国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合	30.0 %	50.0 %
観光入込客数	1,178,240 人地点	1,335,000 人地点
新川周辺が活性化していると感じている市民の割合	39.5 %	55.0 %
今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合	72.4 %	80.0 %

■ 計画事業

事業名	(a)多言語防災・生活情報配信事業	担当課	シティプロモーション課		
事業概要	日本語が不自由な外国人住民に多言語(ベトナム語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・英語・中国語)による防災・生活情報の提供を行う。	指標(目標)	登録者数 307人⇒500人		
		年度計画	R3 実施	R4 実施	R5 実施

事業名	(b)地域間連携推進事業	担当課	商工観光課 観光推進室		
事業概要	近隣自治体が保有する観光資源と市の花「バラ」や新川千本桜などの観光資源を組み合わせて、観光振興の相乗効果を図る。	指標(目標)	観光入込客数 1,178,240人地点 ⇒1,335,000人地点		
		年度計画	R3 推進	R4 推進	R5 推進

事業名	(c)印旛沼流域かわまちづくり計画拠点整備事業	担当課	公園緑地課		
事業概要	印旛沼流域4市2町(成田市, 佐倉市, 八千代市, 印西市, 酒々井町, 栄町)が計画する「印旛沼流域かわまちづくり計画」に基づいて水辺拠点や一里塚を整備する。	指標(目標)	新川周辺が活性化していると感じている市民の割合 39.5% ⇒ 55.0%		
		年度計画	R3 工事	R4	R5

事業名	(d)観光資源活用・情報発信事業	担当課	商工観光課 観光推進室		
事業概要	市内にある観光資源の活用方法を検討するとともに、それらの観光資源を観光ガイドアプリやSNSなどの多様な媒体を用い情報発信することで、本市の認知度やイメージの向上を図る。また、観光の振興に係る基本的な計画を策定する。	指標(目標)	観光入込客数 1,178,240人地点 ⇒1,335,000人地点		
		年度計画	R3 実施 計画策定	R4 実施	R5 実施

事業名	(e)シティプロモーション事業	担当課	シティプロモーション課		
事業概要	本市が有する豊かな自然環境や魅力ある施設等の地域資源等を活用した市の魅力の創造に努めるとともに、市内外への市の魅力の発信に取り組む。 また、若い世代を対象とした、ライフステージを応援する事業を検討する。	指標(目標)	今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合 72.4%⇒80.0%		
		年度計画	R3	R4	R5
			実施 検討	実施	実施

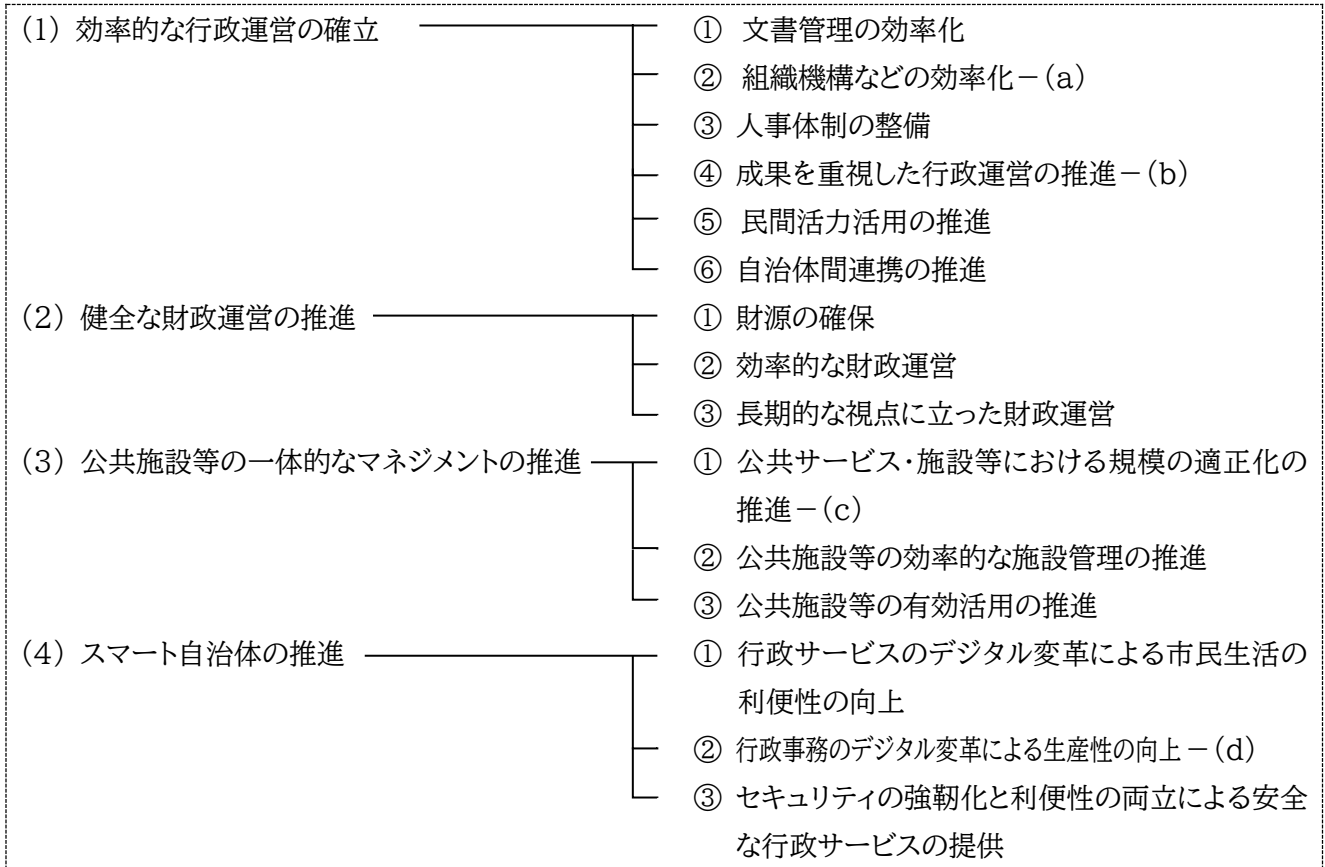
■主な現行事業

- | | |
|-----------------|------------------|
| ●男女共同参画センター運営事業 | ●男女共同参画推進事業 |
| ●国際推進事業 | ●多文化交流センター運営管理事業 |
| ●平和事業 | ●八千代こども国際平和文化事業 |
| ●観光推進事業 | |

第4章

持続可能な行政経営の確立

■施策の体系



■基本計画における指標

区分	現況値	目標値(令和6年度末)
行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合	23.1 %	50.0 %
市税徴収率	96.9 %	97.0 %
公債費負担比率	14.2 %	14.0 %以下
財政調整基金残高	標準財政規模の約7.0 %	標準財政規模の10.0 %以上
市債残高	約512 億円	450 億円以下
公共施設でのサービス, また, 設備や管理が適切と感じている市民の割合	41.0 %	50.0 %

■ 計画事業

事業名	(a)行政組織の見直し	担当課	総務課		
事業概要	施策・事業を効果的かつ効率的に推進するため、行政組織の見直しを行う。	指標(目標)	行政組織の見直し		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査 検討	実施	検討

事業名	(b)行政評価推進事業	担当課	企画経営課		
事業概要	事業の妥当性、事業手法の適否の検証等、事業実施における事務改善ツールとして、PDCAサイクルの庁内への定着を図るとともに、評価結果を集計・分析・公表することで、行政資源の最適かつ効果的な配分及び行政の説明責任を行う。	指標(目標)	事務改善事業数 評価対象事業総数の4割		
		年度計画	R3	R4	R5
			検討	実施	実施

事業名	(c)庁舎建設事業	担当課	庁舎総合整備課		
事業概要	大震災直後でも災害対応を含む行政機能の維持を可能とするため、また、合同庁舎化や総合窓口の設置などにより、市民サービスの向上を図るため、市庁舎の建替えを検討する。	指標(目標)	防災拠点としての機能確保		
		年度計画	R3	R4	R5
			倉庫棟 工事	倉庫棟 工事	検討

事業名	(d)情報システム標準化事業	担当課	情報管理課		
事業概要	自治体情報システムの標準化を進め、業務効率の向上及び市民の利便性向上を図る。	指標(目標)	標準仕様システムの導入		
		年度計画	R3	R4	R5
			調査 検討	調査 検討	調査 検討

■ 主な現行事業

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ●文書管理事業 | ●行政管理事業 |
| ●企画政策調整事業 | ●行財政改革推進事業 |
| ●財政管理事業 | ●市税徴収管理事業 |
| ●公共施設マネジメント事業 | ●行政情報システム運用管理事業 |
| ●基幹情報システム運用管理事業 | ●情報化推進事業 |